語 科目 ^{単位数: 2} 単位 国語 文学国語

| 高等学校 令和7年度 教科教 | 国語 | 日: 文学国語 | 文学国語 | 大学国語 | 東京書籍 (文国701) | 大学国語 | 大学和 | 大学 (4組: 合谷) (5組: 合谷)

科目 文学国語 の目標:
「知識及び技能」
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、 技が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、衰弱力等】 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考え 合力を養い、他者との関わりの中伝え合う力を高め、自分の思いや考え を広げたり深めたりすることができるようにする。

W = 0 = 14 44 44 18 18 18 18	松道塔口山中		領域		\$17.72 MB (MB	知		60	配当
単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	話・間	#	読	評価規準	XII	思	態	時数
深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすととも に、創造的に考える力を奏い、他者との関わりの中で え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたり することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】	2 筆者が「子供向けに書かれた本」をどのように感じて いたかを読み取る。 3 『雨月物語』や『怪談』がどのような作品か確認し、 筆者が『雨月物語』や『怪談』を好んで読んでいた理由 を考える。 4 筆者が『雨月物語』の「洗茅が宿」からどのようなこ		0	0	「超接」 「超像や心情を豊かにする機合があることを理解している。 ・情景の型かさや心情の機能を表す的の置を増し、文章の中で使うことを進し、大道を開き結束を書かいている。 と考して、実施を構造して、表が国の書語文化の特賞について 国際を変か。 「読むこと」において、文章の程度を表すまて、内容や構成、展開、 ・「読むこと」において、文章の程度を指まえて、内容や構成、展開、 ・「読むこと」において、文章の程度を指まえて、内容や構成、展開、 ・「読むこと」において、小者の内容や解釈を語まえ、八周、社会、自然などに対するのの見方、感じた・考え方を深めている。 「主」並んで『病者物語』が生命に与えた影響を起か取り、今までの学習を生かして「物語」についての自分の考えをまるかようとしている。	0	0	0	5
【思考力、判断力、表現力等】 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすととも に、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝	2「短編小説」が書った「小説ってのは小さな『窓』なんですよ。」とは、どのようなことを表しているか読み取る。 あたれた間いた「僕」は何を考えたかを読み取る。		0	0	・ 言葉には、想像やの情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・ 信養の豊かさやの情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通足して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 文学的な文章を設定したを通して、我が国の書語文化の特質について ・ 理解を深めている。 「思料教」」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開。 ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開。 ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開。 ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開。 ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえ、解 「読むこと」においてもないで、中間、表現の仕方を踏まえ、解 に主】 我り強く「知識小説」が発覚さもの理解し、学習課題に沿って 自分自身の記憶の風景を思い出して文章を書こうとしている。	0	0	0	5
定期考査						0	0		1
○ 単元 小説 (山月記) 「加瀬及び挟始」 生薬にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に 付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深め ることができるようにする。 【思考力、判断力、表現分等】 深 (共感した)望かに影略したりする力を伸ばすととも に、前達的に考える力を楽い、他者との関わりの中で伝 え合う力を高め、自分の配しい考えを広げたり深めたり することができるようにずる。 【学びにのきるようにずる。	考える。 2 あらかじめ調べてきた語句の意味を構図し、漢文調を 生かした語句の意味を明らかにする。 3 「語り」の変化を手がかりに、本文をいくつかの場面 に分け、それぞれの要点をまとめる。 4番・異いに描かた字板の性格について発表する。 5年数がどのような経緯を上どって底になったかをまと 6歳となった単のの情を考える。 7季複の心情、生き方を探る。 3 年報の心情、生き方を深る。	0	0	0	・	0	0	0	1 12

	プリー 単元 小説「沖縄の手配から」 (知識及び扶他) 生選にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (思考力、判断力、表現力等) に、新途的にもなるとかできるようにする。 (思考力、判断力、表現力等) に、新途的にもなるとかを表し、心等表を拡げたり深めたりすることができるようにする。 (とました) に、新途的にあるとした。 (できる) とりにする。 (とました) にずる。 (とました) にずる。 (とました) にずる。 (とました) にずる。 (とました) にずる。 (とました) にずる。 (とました) にずるの能力・力の機会の必要ととき、ものの能力・力を発展した。 (とました) に関わるうとする態度を深か。 (とました) に関わるうとする態度を深か。 (とました) に関わるうとする態度を深か。 (とました) に関わるうとする態度を深か。 (とました) に関わるうとする態度を深か。 (とました) に関わるうとする態度を深か。 (とました) に関わるうとも、 (とました) に関わる。 (とました) に関わる (とました) に関わる (とました) に関わる (とました) に関わる (とました) に関わる (とました) に関わる (とました) に対して、 (とました) に関わる (とました) に対して、 (とました) に対	た事件の展開を理解する。 3「私」と「娘」が置かれた状況や立場を、地の文の説明やそれぞれの発言に注意して読み取り、まとめる。 4「私」の当間キョに対する心情の変化を、事件の展開	0	0	0	[知技] ・言葉は、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の量かさや心情の機能を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを追じて、結婚を指き結果を豊かにしている。 とを追じて、結婚を指き結果を豊かにしている。 ・大学の女章を動き、ことを選り、一大学の大学の大学を持ている。 ・大学の女章を動き、ことを選して、表が国の書話文化の特質について、大文学の女章を動き、ことを選して、表が国の書話文化の特質について、大文学の女章を動き、これ、大学の人間の意文の一大学の人間である。 ・人間、社会、自然などの情報をあないら、「表現の一大学の情報をある」と、「において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、指写の仕方などを開催に及れている。 ・「読むこと」において、大学の理解と描まえて、内容や構成、原開、指写の仕方などを開催に及れている。 ・「読むこと」において、特品に表れているものの見方、意した。「大学を提えるととは、「特品が成立した異常化の力量力を必要した。「大学を表れている。」 ・「表現こと」において、特品に表れているものの見方、意と言いて、表れのの情を記し、特別が成立した異常化の心をよるものの見方、表現の特と、「特別が成立した異常化の人間を発展に沿って主人公の内面と皆似を理解して、その生き方について考え、話し合おうとしている。	0	0	0	1 14
2 学期	定期考査 [単元 「東京 「東京	「竹」 ・特徴的なリズムや表現に気づき、それがどのような効果で作品とはことでいるかを終み取る。 と音能に、表現との特色として気づいたことや表現の効 さそれたの選に描かれている世界をつかむ。 ・表現るれた内容を読み取り、描かれた行動や音楽から 「わたくし」のは以対する別とを解釈する。 1作者について、終歴や文学時間を知る。 3作者教持の表現の背景にあるものについて考え、作者の目標としたものをまとかる。	0	0	0	「知技」 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさか心情の機能を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを進して、発診を課き語を参加にしている。 ・文字等がな文章を終えことを通して、表が固の音語文化の特質について ・文字等がな文章を終えことを通して、表が固の音語文化の特質について ・大郎人人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かに する諸書の多義と効用について理解を変めている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、 ・「読むこと」において、業の種類を踏まえて、内容や構成、展開、 ・「読むこと」において、最初手の現台や場面の設定の仕り、表現の特 もしていて評価を必要に受している。 ・「読むこと」において、最初手の現台を場面の設定の仕り、表現の特 もしていて評価をいると思考している。 ・「読むこと」において、最初を解している。 ・「読むこと」において、最初を解している。 ・「読むこと」において、まり手の現台を調節につるて作品に 込められた作者の思いを読み切みうとして、 込められた作者の思いを読み切みうとと は込むを記念している。	0	0	0	1
	定期考査 F単元 小説「こころ」 【知識及び技能】	・人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありよう について考えを深める。 1作者紹介などを参考に、本教材を学習するのに必要な				「知技] - 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 - 情景の豊かさや心情の機能を表す話句の量を増し、文章の中で使うことを進して、記巻を経き路巻を単かにしている。	0	0		1
3 学期	生涯にわたる社会生活に必要に関語の知識や技能を身にし、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにで、我が国の言語文化に対する理解という。 【他考力、判断力等】。深く共感したい基かに影像したリサる力を伸ばすとと、こ、前途的に表る力を高から、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ値段への認識を深めるとともに、生涯にわたって誘きがよりも回復との認識を深めるとともに、生涯にわたって誘き出くが目の音楽がもつ値段への認識を深めるとともに、生涯にわたって誘き出くが目の音楽がもつ値段への認識を深めるとともに、生涯にわたって誘き異くか自己を関するとない。	範囲で、作者・作品について予備知識を持つ。 くってころ」についての概度と、本教材に至るあらすじ を読み、「私」とお雑さんとの関係。「私」とだりの関係 多本文を連接し、話の展開にしたがって、簡潔に要約す 4機が出てくる場面を提し、本文中で重要なはたらきを 持つ度の役割に注目する。 5 (6の目数を知った時の「私」の行動・心理を整理す 5 (6の目数を知った時の「私」の行動・心理を整理す 5 (6の目数を知った時の「私」との実体に主要して事の経緯をまとめ、 「私」と似性格や生き方の違いについて考えて、全体 を提り返り、指帯・時などあるとについて話し合	0	0	0	・文学的な文章における文体の特徴や解除などの表現の技法について、体系的に環境に使っている。 ・文学的な文章を終むことを通して、我が国の言語文化の特質について、 東京を表がした。 は会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かに ・と思考表。 ・「読むこと」において、文章の種類を語まえて、内容や構成、展開、 指写の仕方などを内臓に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を語まえて、内容や構成、展開、 指写の仕方などを内臓に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を語まえて、内容や構成、 ・「読むこと」において、文章の構成や場面の設定の仕方、表現の特 を一について評価することを通し、内容を採取を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方と語まえ、解 駅の多種性について考察している。 「主、熱り強く登場人物の関係性と心情を描写から把握し、今までの学 書と古たしてんののありようについて考えを深め、自分の考えを話し 合おうことしている。	0	0	0	15
	定期考查									1 合計 70

年間授業計画 様式例

高等学校 令和7年度(2学年用) 教科 科目 論理国語 国語 教 科: 国語 科 目: 論理国語 単位数: 2 単位

対象学年組:第 1学年 1組~ 7組

教科担当者: (組:) (組:) (組:) (組:) (組:)(組: 使用教科書: (

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語

の目標: 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける ようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目·内容		領域	或		評価規準	Δn	思	態	配当
	単元の共体的な指導自信	11等模口 77分	話・	聞	書	読	計Ⅲ烷平	М	100	125	時数
	A「『リスク』と『リスク社会』」 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を 身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的,批判的に考える力を伸ばす とともに、創造的に考える力をき い,他者との関わりの中で伝えを方 力を高め、自分の思いや考さきるよ う力を高め、自分の思とができるよう にする。 【学びに向か値への認識を書言さい。 「学球がもつ価値への認識書言ともに、も向上でも大り探めを ともに、もに、の自覚をもとし、 み自己を向上としての担い手とした。 大りにする。 ともに、生涯にさせ、 はずない。 はずがもつ価値への認識書に観さ ともに、もの担い手としての自覚をもらう。 大きなに関わるううと する態度を養う。	対比に注意して論の展開をつかみ, 「リスク」という概念について理解 を深める。	C)	0	0	[知識及び技能] 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 [思考カ・判断力・表現等] 「読むことが構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 [主体的に学習に取り組む態度] 積極的にベックとルーマンの各記述から中心的主張を捉えて要約し、学習課題に沿って現代における「リスク」について具体的に考え、話し合おうとしている。	0	0	0	8
1	定期考査							0	0		1
学期		具体的な事例と筆者の意見の関係に 注意して読み、言語と自我の構造に ついて考える。	C)	0	0	[知識及び技能] 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成・論理の展開などを把握している。 [主体的に学習の意見と具体例の関連性を理解とと、学習の意見と表し、学習の関連性を理解を整する。と、 (主体的に学者の通しをもっている。) (主体のにながら変更にない。 (主体的に学者のでは、 () () () () () () () () () () () () ()	0	0	0	15
	定期考査							0	0		1
	C「ミロのヴィーナス」 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を 身に付けるようにする。 身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的,批判的に考える力を伸ばす とともに、創造的に考える力を後い,他者との関わりの中で伝え合う 力を高め、自分の思いや考さるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつ価値への認識を漂めると ともに、生涯にわたっ我が国をもに、生涯にわたまりではのって、我が国をして、 の担い手とと者や社会に関わろうと 大の担い手とと者や社会に関わろうと する態度を養う。	・具体例に注目して筆者の主張を理解し、芸術の見方について考える。 ・書かれている内容を理解し、論理的に考えることの意義を知る。	C)	0	0	[知識及び技能] 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している力・判断力・表現等] 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを把握している。 [主体的に学習に取り組む態度] 進ん的に学習に取り組む態度] 進んがらの進め方を捉え、学習課題に沿する見体で芸術における具体と習課題に対する見ないものへと思考を広げる、芸術に対する見方を深めようとしている。	0	0	0	12
2	定期考查							0	0		1
学期		提示された問いに注意して筆者の主 張を理解し、自分に引き寄せて考え る。					[知識及び技能] 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりけることを可能にする働きがあることを理解している。 [思考力・判断力・表現等]				

論理的,批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向からかり、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書の言えらした。はの担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		0	0		「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 [主体的に学習に取り組む態度] 進んで本文中の複数の問いと具体例の配置に着 目しながら、筆者独自の造語に基づく主張を読 み取り、今までの学習を生かして「分人」とい う観点から自分とその人間関係について考えを 深めようとしている。		0	0	14
定期考査						0	0		1
実社会に必要な国語の知識や技能を 身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的、批判的に考える力を伸ばす とともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う 力を高め、自分の思いや考えを広げ たり深めたりすることができるよう にする。	図を適切に参照して本文中の対比を 捉え、日本と西欧の美意識の違いを 理解する。	0	0	0	[知識及び技能] 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 [思考力・判断力・表現等] 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 [主体的に学習に取り組む態度] 筆者の論の進め方に留意しながら、西欧と日本を対比的に捉え、生活行動全般に及ぶ日本人の美意識を理解しようとしている。	0	0	0	16
定期考査						0	0		1
									合計 70

| The property | The

教科 国語

能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言 記文化に対する理解を深めることができるよう。 見力、感じ方、考えたの限りの中で伝え合うかう。 とあた。自分の思いや考えを広げたり深めたりする 言葉を通して他者や社会に関わろうとする 「独議及び味能」 ・ 中元の具体的な指導目標	富葉がもの価値への認識を深めるともに、生 ものの は合う力 は合う力 が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度 を養う。 評価規準	像も6:1 ・理増し・て・や・き理・ ・理増し・て・や・き理・ ・理増し・て・や・き理・ ・理・のをのののの次深な	り豊からの中で	した通りげ 域	論理的に考える力や深く りする力を伸ばし、古り 見方、感じ方、考え方と を高め、自分の思いやま ことができるようにする	統的な言う	にわたる社会生活に必要な国語の 身に付けるとともに,我が国の伝 に化に対する理解を深めることがで	能を! 語文化
# 元の具体的な指導目標 指導項目 本文を正しく音波する。	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	[・理増し・て・や・き理・ 知古解すで古理古展古や解古 典しこい典解典則を発す のの次深な	詩読	_	指導項目・内容			
「主変 十割跡 大江山の歌 1本文を走しる音歌する。 2根法を参索にしながら本文を現 2根法を参索にしながら本文を現 2根法を参索にしながら本文を現 2根法を参索にしながら本文を現 2根法を参索にしながら本文を現 2根法を参索にしながら本文を現 2根法を参索にしながら本文を現 2根法を参索にしながら本文を現 2根が国の伝統的な言語文化に対 上背景を理解する。 古典人作品できるよう 1本文を連したものの風味ではなるようで表 2根語のためようかや深くが感したり 3根語のためまるかや深くが感したり 3根語のためまるかや深くが感したり 3根語のためまるかや深くが感したり 3根語のためまるかを認めます。 1本文を正けたり深めたりすることが 1を表が上の形成をの見 3根語のために必要な支部のきまりや別 2根語のために必要な支部のきまりや別 2根語のために必要な支部のきまりや別 2根語のためよの必要を関する。 1本文を正けたり深めたりすることが 1を表に上立を通して、現が国の文 (化の特質や、我が国の文化との関係について理解を深めている。 1を表とを話せために必要な支部のきまりや別 2根の利助したとも同して、我が国の文化との関係について理解を深めている。 1を表とを話せために必要な支部のきまりや別 2根の利助したとが同意を変め。言 案を通して他者や社会に関わるうと 1を表に上立とが 1を表に上立と上立と上立と上立と上立と上立と上立と上立とが 1を表に上立と表に上立とが 1を表に上立とが 1を表に上立と表に上立と表に上立と表に上立と上立と上立と上立と上立と表に上立と表に上	無に用いられている語句の意味や用法をし、古典と語とかは必要な音の報をでしたを通して、語感を磨き語彙を豊かにいる。典の作品や文章の種類とその特徴につい解を保険のでいて理解を保めている。 典の作品や文章に表れている。言葉の響りメス、修飾とどの表現の特色について登極を映めている。 典のでかいる。 典のでかいて理解を保めている。 当のでは、ままして、我が国の文 特質や、我が国の文化と中国など外国の と機能としたとの選妹についる。 当を対しために必要なな語のきまりや訓 きまりについて理解を保めている。 訓表がといる。現本を設むために必要なな語のきまりや訓 きまりについて理解を保めている。 訓表がとしば、おいて、文章の種類を踏ま 、構成と関係とどを的確に缺えている。 当ままして、りで理解を保めている。 、構成と関係とどを的確に缺えている。 、 は、情報とどを的確に決えている。 は、情報とどものは、決して、日本を を記むことして、対して、多、 を認むことして、日本を を記むことして、ままして、内容を を 考えや目的、意図を提えて内容を的確 まさして、日本に、と要して、書き 考えを目的、意図を提えて内容を解析す ともに、文章の構成や展開、表現の特色 いて評価している。 該むことしている。 該むことして、おいて、古典の場と結び付 考えを広げらで読めたりにいる。	[・理増し・て・や・き理・ 知古解すで古理古展古や解古 典しこい典解典則を発す のの次深な	ar abc	#J Z			単元の具体的な指導目標	
定期考査 B 古文 徒然草 花は盛りに 【知識及び民能】 2期社を参考にしながら、本文を 理解したる社会生活に必要な国語 切り場合状能を身に付けるととも に、我が国の伝統的な言語文化に対 する理解と深めることができるよう に、我が国の伝統的な言語文化に対 する理解と深めることができるよう に、といて理解する。 1世考力、判断力、表現力等 1世考力、判断力、表現力等 1世考力、判断力、表現力等 1地理的に参考とわわで深く未認したり 豊かに思像したリする力を예はし 古典などを組した先人のものの見 方。感ど方・考え方と同間わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや 考えを広げまり深めたりすることが できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等 1音楽がらいたが、対象のでは、大変の様成 や理解が上がらいて理解を深めている。 ・ 古典などを認した先人の自分の思いや 考えを広げまり深めたりすることが できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等 1音楽がらし合植への認識を深めると ともに、生涯にわたって古典に親し み自己を向値への記載を深めると ともに、生涯にわたって古典に親し み自己を向したせ、我が国の言語女	取り、学習課題に沿って和歌の意味や展	文・読 [・え・えに・手るに・にけ [読みと典き判読, 満、え読考とい読い考] 取とのとつ「つ、主] 取のとのには、これでは、一覧のとのには、「では、また。」といいて、進り、「では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	0		参考にしながら本文を現る。 山」の歌の修辞や詠まれ 理解する。	2脚注を参え 代名「大を動き を表する。 という という という という という という という という という という	【知識及状能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語 たり、親が国の伝統的な言語を化に対 する理解を深めることができると にする。 【思考り、判断力、表現功等】 齢煙がに考え力や探く未被したり ・ は、力を一般である。 で伝え合う力を保け、 で伝え合う力を深りなしなり で伝え合う力を深めました先ののものの見 ・ で伝え合う力を深めましたが で伝え合う力を深めました。 で伝え合う力を深めました。 でをさなたにする。 【学びに向かう力、の認識を深めると をもに、生涯にわたって古典に親な をもした。 からしていました。 ともに、生涯にわたっては、 を見るとないます。 ともに、生涯にもたっては、 をもしています。 ともに、生涯にもたっても、 ともに、生涯にもたっても、 ともに、生涯にも、 からしています。 ともに、生涯にも、ない。 ともに、生涯にも、ない。 ともに、生涯にも、ない。 ともに、生涯にも、ない。 ともに、生涯にも、ない。 ともに、生涯にも、ない。 ともに、生涯にも、ない。 をともに、生涯にも、ない。 ともに、生涯にも、ない。 をとした。 を必ずるとない。 をとして、自然で、また。 を必ずるとない。 を必ずるとない。 を必ずるとない。 を必ずるとない。 を必ずるとない。 を必ずるとない。 を必ずるとない。 を必ずるとない。 を必ずるとない。 を必ずるとない。 を必ずるとない。 をとして、もない。 をとなななな。 をとなななな。 をとななな。 をとななな。 をとななな。 をとなななな。 をとなな。 をとななな。 をとななななな。 をとななななな。 をとななななな。 をとなななななななななな	【生のにすに【論豊古方で考で【言とみ化薬
B 古文 後然草 花は盛りに 【知識及び技能】 ・ 担訴を参考にしながら、本文を ・ 担訴を参考にしながら、本文を ・ 担訴を参考にしながら、本文を ・ 担訴を参考にしながら、本文を ・ 担訴を参考にしながら、本文を ・ 担訴とを連したない。 ・ は、我が国の伝統的な言語文化に対 ・ する理解と深めることができるように ・ は、中心の国の伝統的な言語文化に対 ・ はちの名の成分の順序や照は、文章の構取としていて理解する。 ・ 「出典などを通した先人のものの見 ・ 古典などを通した先人のものの見 ・ 古典などを前した生人のものの見 ・ 古典などを通した、 発が国の文化と中国など外国の ・ 本書なおむことを通して、 現が国の文化と中国など外国の ・ 本書な歌むために必要な表語のきまりや訓 ・ 古典などのいて理解を深めている。 ・ 古典などのいて理解を深めている。 ・ 古典などのいる。 ・ 古典などのは、文章を解していて理解を深めている。 ・ 古典などのは、文章を解していて理解を深めている。 ・ 古典などのいる。 ・ 古典などのは、文章を表して、 現が国の文化と中国など外国の 文化の特質様、 我が国の文化と中国など外国の 文化の特質様、 我が国の文化との計画な変な変話のきまりや訓 ・ 古典など自己といて理解を深めている。 ・ 古典などは、文章の権類を踏ま		用のおも					定期多本	完
1 東を通して他者や社会に関わろうと 学 対象態度を養う。 期	接】 無に用いられている語句の意味や用法を し、古典を読むために必要な語句の量を ことを通して、語感を贈き語彙を豊かに 、典の作品や文章の種類とその特徴につい 典の文の法分の順序や照応、文章の構成 側の仕方について理解を保めている。 要の状の人の地で理解を保めている。 要のする。 をを述るととの場似とついて理解を保めている。 を経めている。 乗ぬどを設定との表現の特について を探めている。 乗を設むために必要なをある。まり、 ・ 表が国の文化を理解を保めている。 ・ 表が国の文化を理解を保めている。 ・ 表が国の文化を理解を保めている。 ・ 表が国の文化を理解を保めている。 ・ 表が国の文化を理解を保めている。 ・ 表が自然を関係となり、 ・ 表が自然を関係。 ・ 表が自然を関係。 ・ 表をして、大変の種類を踏ま ・ 、 情談を関係とといる。 ・ 対象に定して内容を的確 またている。 ・ 社会との機能として、 ・ 表をいて、文章の種類を踏ま ・ 、 情談ととし、において、文章の種類を踏ま ・ 、 古典特有の表現に注意して内容を的確 またこと、において、文章の構成や機関、表現の特を ともに、文章の構成や機関、表現の中心を をともに、文章の構成の一般。 ・ 、 古典の作品を必ず ・ 、 古典なの場合。 ・ 、	・理増し・で・や・き理・化文・誌 (こえ) るのをのののズ深な質のをままむ精力古に工作とのとのにいます。 生物では、大きないののズ深な質のをままむ精力古でむえもでむてえ,進筆・化文・誌 (こえ・えに・手るに・にけ [治・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0		参考にしながら,本文を する。 美意識を理解する。 ド容朝・形容動詞の活用 理解する。	2 即注を書き出版を書き、2 即に注意を表現にいる。 3 筆者の 3 年 4 年 5 日 5 日 5 日 5 日 5 日 5 日 5 日 5 日 5 日 5	3 古文 徒然草 花は盛りに 【知識及状核能】 「知識及状核能】 ・ 現代は一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	B 【生のにすに【論豊古方で考で【言とみ化業す】
□ 漢文	無に用いられている語句の意味や用法をし、古典と称とからに必要な話を知の量をしまる。	・理増し・て・化文・読・代て・みかめ [・・え・こと・・・ 発典の・ににめ・を通え [題に、とるのをな質のをまの業をの分るる表む構む古好って・化文・読・代で・みかめ [・・え・えに・手るに・景典の・ににめ・を通え [題に ・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0	C	現代語訳する。 「猿ノ子」を得た者を罷 由を考える。 という故事成語の意味	き下し、男名を表した。男子の公理場が、自した断い方を4、「いっちゃっちゃっちゃっちゃっちゃっちゃっちゃっちゃっちゃっちゃっちゃっちゃっちゃっ	【知識及び技能】 単雄正もかた社会生活に必要な国語 た、我が国の体的な音を発に付さととも、 大き無格と深めることができるといた。 「思考」、判断 力、表現力等 静壁的に考え力や際、大速度とか、 を表したりする力を伸ばした。 を表したりっまっかを伸ばした。 を表した方、考え方との関わりの思い で名え合うたの関わりの思い で名えるがたり浮み。 「一般性等」 を表していまった。 「一般性等」 を表していまった。 「一般性等」 を表していまった。 は、 を表していまった。 は、 を表していまった。 は、 を表していまった。 は、 を表していまった。 は、 を表していまった。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	【生のにすに【論豊古方で考で【言とみ化薬
	3 進んで漢文の読み方を確認し、学習課 治って、故事成語の成り立ちとその意義 漢文の受容について考えようとしてい	5.						

学 日 古文 土佐日記 馬のはなむけ	1当時の月日や時刻の呼び方について知る。 2この章段に害かれている旅立ちの事情を認み取る。 3服化表現、機知を必要も後を表える。 4個に、この作品の世色を考える。 3になります。 4回の一文から、作者がどのような日記を書こうとしているのかを考える。	0		0	「五典に用いられている語句の意味や何量を 理解に、古典を読むために必要な話句を 理解に、古典を読むために必要な話句を はしている。 一で理解とや文章に表れます。 で理解を深めている。 一で理解を深めている。 一で理解を深めている。 で理解を深めている。 一で理解を深めている。 一で理解を深めている。 一で理解を深めている。 一で理解を深めている。 一で理解を深めている。 一で理解を深めている。 一で理解を深めている。 一で理解を深めている。 一で理解を深めている。 一で世界を深めている。 一で世界を深めている。 一で世界を深めている。 一で世界を深めている。 一ではなどを読むこといます。 一ではなどを読むこと、一個など外る。 一ではなどを読むこと、一個など外る。 一ではなどを読むとないます。 ででは、これがて、文章の種類を発している。 一では、これがで、文章の種類を といる。 に、において、文章の種類を といる。 に、において、文章の種類を といる。 に、において、文章の種類を といる。 に、において、文章の種類を といる。 に、において、といる。 に、といる。 に、に、といる。 に、に、といる。 に、に、といる。 に、に、といる。 に、に、といる。 に、に、といる。 に、に、といる。 に、に、といる。 に、に、といる。 に、に、といる。 に、に、といる。 一でいる。 に、に、といる。 に、に、これ、といる。 に、これ、これ、といる。 に、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、	0	0	0	8
E 漢文 唐詩と文	1 それぞれの作者について理解する。 2 詩を声に出して語む。 2 詩を声に出して語む。 3 それぞれの詩の内容を捉える。 4 摩請の詩形、押願、対句の表現について考える。 5 正確な現代語説をする。 6 義り返し時間とて唐詩の調べを理解し、時間する。		0	0	「知枝」 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解に、古典に開いられている語句の意味や用法を理解に、古典に認むために必要を語句意かに、古典に認むために必要を語句を強って理解と、表示を描えている。 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 古典の作品や文章に表れている。 古典などを添むことを通して、我が国の文化の表現の特色について理解を深めている。 古典などを形むことを通して、我が国の文化の特質や、異な国の文化との関係について理解を深めて表力、また人のものの見方、感じ方、考考之解に表し、大先のものの見方、感じ方、考考之解と表し、自分のものの見方、感じ方、考考之解と表し、に、知れている。 「読むこと」において、文章なの種類をと称している。 「読むこと」において、文章なの種類を経過である。 大元の書ものの見方、感じ方、考えに、世紀を記しまして、文章なの種類を経過である。「読むこと」において、文章なの種類を経過である。「読むこと」において、文章なの種類を発している。「読むこと」において、文章なの種類を発している。「読むこと」において、文章なの種類などを読み、その頼いる時間を発している。「読むこと」においている。 「読むこと」においている。 「読むこと」に表れているのの見方、感じ方、たら古見の価値記こと」に表れているものの見方、感じ方、というないる。 「読むこと」に表れているのの見方、感じ方、というなのでは、表れているものの見方、感じ方、というないる。 「読むこと」に表れているものの見方、感じ方、というないる。 「読むこと」に表れているものの見方、感じ方というないましている。 「読むこと」に表れているもので表れている。 「注意ないましている。」 「注意ないましている。」 「注意ないましている。」 「注意ないましている。」 「言意ないましている。」 「言意ないましている。」 「言意ないましている。」 「言意ないましている。」 「言意ないましている。」 「言意ないましている」 「言意ないましている。」 「言意ないましている」 「言意ないましている。」 「言意ないましている。」 「言意ないましている。」 「言意ないましている。」 「言意ないましている。」 「言意ないましている。」 「言意ないましている。」 「言意ないましている。」 「言意ないましている」 「言意ないましている。」 「言意ないましている。」 「言意ないましている。」 「言意ないましている。」 「言意ないましている。」 「言意ないましている。」 「言意ないましている。」 「言意ないましましている。」 「言ないましている。」 「言ないましまないましましましましまないましまないましままないまないままないままない	0	0	0	8
F 漢文 史記 四面楚歌 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語 の知識や技能を身に付けるととも に、我が国の伝統的な言語文化に対	1本文を繰り返し音読し、書き下し文にする。 2正しい訓読をもとに語彙を調 ベ・正確に現代語訳する。 3文脈に即して、内容や登場人物 について理解する。	0		0	[短枝] ・古典に用いられている語句の意味や用強を理解した。 古典によりないない。 古典の能ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない				11
定期考査 G 古文 平家物語 壇の浦の合戦 【知識及び技能】 (五)	1平家物語について、文学史的知 識や文体の特徴についてを理解する。 2本文を正しく音話する。 2本文を正しく音話する。 現代語訳する。 4本文に即して登場人物の言動 や、心情を理解する。	0		0	「知技」 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を認むために必要な話句の量がしている。		0		15
定期考查						0	0		1 合計
									70

高等学校 令和7年度 教科

教 科: 地理歴史 科 目: 歴史総合 単位数: 2 単位

対象学年組:第 1学年 1組~ 7組

教科担当者: (3組・5組・7組;河端) (2組・4組・6組;小黒) (1組;山下) 使用教科書: (第一学習社『高等学校 歴史総合』 副教材『明解歴史総合図説シンフォニア』 ワークシ)

教科 地理歴史 の目標:

【知 識 及 び 技 能】 歴史的な転換点の因果について理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 歴史的事象の意義、及びその特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、現代 【思考力、判断力、表現力等】 社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したりそれらを基に議 論したりしている。 論したりしている。 は一たりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ス

科目 歴史総合

科目 歴史総合 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
現代世界の持つ重要な要素としての「大衆化社		歴史的事象を踏まえ、より良い社会の実現を視	
会」、「グローバル化社会」が、さまざまな国	を、地形的関係、社会体制、人間と自然環境と		
際秩序の変化に基づいて生じていることについ	の相互関係、相互依存作用などに着目しつつ活		
	用し、多角的、多面的に考察したり、現代の諸		
する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ	課題の解決に向けて構想、考察したことを効果		
る技術を身に着けている。	的に説明したり、議論したりする力を養う。	人としての自覚などを深める。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	欧米諸国における近代化 【知識及び技能】 市民社会と国民国家の形成、資本 注義社会と国民国家の形成、資本 について、資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革のし、みずからの言義をとの問わりを考察し、 で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 市民本のを産業革命が、現代社会を集でまる。 【学びに革命や産業革命が、追究とに与えた影響と課題について、追究	②フランス革命の影響と国民意識 の芽生え ③産業革命で変わる社会 ④イギリスの繁栄と国際分業体制 ・教材	欧米諸国における近代化 【知識・技能】 市民社会と国民国家の形成、資本主義社会 と国際分業体制確立の経緯について、資料を 読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 市民革命および産業革命の経緯などから、 諸改革の意義と現代社会との関わりを考察 し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 市民革命や産業革命が、現代社会に与えた 影響と課題について、追究しようとしてい る。	0	0	0	5
	近代化の進展と国民国家形成 【知識及び技能】 国民国家を民民国主義による 世界分取り、理解した帝国主義に資 を読み取り、理解した帝国之等。 と一般のでは、一般のでは、一般のでは、 、現民国家の形成・発国主義が、み 、発展主義が、み 、ならの言葉でありしている。 【学びに国家や帝国主義政策が、現代 国民に与えた影響と課題について追 を記している。	②イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化 ③アメリカの拡大と第二次産業革命 ・金田主義と世界の一体化 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、	近代化の進展と国民国家形成 【知識・技能】 国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況について資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家や帝国主義政策が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	0	0	0	8
₩.	定期考査			0	0	0	1
期	アジア諸国の動揺と日本の開国 【知識及び技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国 の変容について、資料を読み取り、 理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「西洋の衝撃」の歴空容をし、 いて、アジア諸国の変容察し、 いり関連葉で表現している。 【学びに南かう力、人間性等】 欧米諸国の進出ととアジア影国の変 変が、現代社会に与えとしている。	②南・東南アジアの植民地化 ③ヨーロッパの日本接近とアヘン 戦争 ④黒船の来航と日本の対応 ⑤新体制の模索と江戸幕府の滅亡 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、	アジア諸国の動揺と日本の開国 【知識・技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容に ついて、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 「西洋の衝撃」の歴史的意義について、アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	0	0	0	8
	近代化が進む日本と東アジア 【知識及び技能】 明治維新とその後の日本の変化や アジア計論維新とその後の日本の変化や アジア計論をで容について、 資料を 説み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 明治維新の歴史的な意響と関連ついて、 考察し、みずからの言葉で表現している。 【学沿維新やアジア諸響と課題について追究しようとしている。	③日本と芯の近代化と日清戦争 ④列強の中国進出と日露戦争 ⑤日露戦争が与えた影響 ・教材	近代化が進む日本と東アジア 【知識・技能】 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸 国の変容について、資料を読み取り、理解し ている。 【思考・判断・表現】 明治維新の歴史的な意義について、現代の 日本への影響と関連付けて考察し、みずから の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会 に与えた影響と課題について追究しようとし ている。	0	0	0	7
	定期考査			0	0	0	1

	第一次世界大戦と 「大戦と 「大戦と 大戦と 大戦と 大戦及び校・視点を戦までのいる。 大戦を別発をいるの理解と 大戦を国域のないので、 新教を説すのないので、 大戦を国域の状でになり等していり等は 大戦を記すり、 一次と 大戦を記述すり、 一次と 大戦を記述すり、 一次と 大戦を記述すり、 一次と 大戦のよのは 大戦のよのは のよの、 一次と でで、 がのよい、 一次に でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで	②総力戦となった第一次世界大戦 ③ロシア革命と大戦の終結 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、	第一次世界大戦と日本の対応 【知識・技能】 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、 選者・判断・表現】 第一次世界大戦の総力戦体制下において、近個の戦闘員・列強の戦闘員・植民地や従いの人々がそれぞれどのようなみずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	0	0	0	5
2 学期	国際協調と大衆社会の広がり 【知識及び技能】 ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国・政化の空解と、で変化の空解としていて、資料を読み取り、表表現社の言葉を表力、国際秩序とみずからしている。 【思考力、国際秩序とみずからの言葉あしいて考察し、みけばのから力、人間性等】 がこのしている。 【学びに向かっ力、人間性等】 ヴェル立と、20世紀にはおりたのが大衆をといて、20世紀にはいる。 大衆をといて。	③中東・インドの民族自決の影響 ④ヨーロッパの復興と大衆の政治 参加 ⑤大衆社会の出現とアメリカの繁 栄 ⑥日本における大衆社会の形成 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、	国際協調と大衆社会の広がり 【知識・技能】 ヴェルサイユ体制によって形成された国際 秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社 会・文化の変化について、資料を読み取り、 理解している。 【思考・判断・表現】 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について 考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立 と、20世紀前半における大衆社会の到来 が、現代社会に与えた影響と課題について追 究しようとしている。	0	0	0	8
				0	0	0	1
	日本の行方と第二次世界大戦 【知識及び技能】 世界恐慌から第二次世界大戦 戦に至るまでの経緯につい着してい、 とマスメディアの関わりに理解している。 (思考力、判断力、表現力等】 ファまで、か考察し、 シスム衆がなぜ戦争がららい で変している。 【思方、判断力、表現力等を協力の で変したいからの。 「世界恐慌後の各国の政治代社会に 大衆の戦後のといてに 大衆の戦後のといてに 大衆の戦力といてに 大衆の戦力といてに 大衆の戦力といてに 大衆の戦力といてに 大衆の戦力といてに 大衆の戦力といてに 大衆の戦力といてに 大衆の戦力といてに 大衆の戦力といてに としている。	③政党政治の断絶と満州事変 ④日中戦争の始まり ⑤第二次世界大戦の展開 ⑥戦局の悪化と被害の拡大 ⑦第二次世界大戦の終結とその惨 禍	日本の行方と第二次世界大戦 【知識・技能】 世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至る までの経緯について、大衆とマスメディの 関わりに着目しながら、資料を読み取り、理 解している。 【思考・判断・表現】 ファシズム体制の形成から終戦に至るま で、大衆がなぜ戦争に協力していったのか考 察し、みずからの言う葉で表現している。 【主体的に学習に取り規定としている。 【主体的に学習に取り規則断と、大衆の 戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題に ついて追究しようとしている。	0	0	0	15
	定期考査			0	0	0	1
3 学期	冷戦下における各国の動向が、現代社会に与えた影響と課題について 追究しようとしている。		【知識・技能】 冷戦下の緊張と緩和の経緯と、そのなかで の日本の高度経済成長や、脱植民地化を目指 す動きについて、資料を読み取り、理解して いる。 【思考・判断・表現】 冷戦下の世界と日本の動向について、政 治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多 面的に考察し、みずからの言葉で表現してい る。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦下における各国の動向が、現代社会に 与えた影響と課題について追究しようとして いる。	0	0	0	5
	定期考査			0	0	0	1 合計 66

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度 教科 数学 科目 数学Ⅱ

対象学年組:第 2 学年 1 組~ 7 組

教科担当者:(1組:山本・石井)(2組:山本・石井)(3組:石井・春田)(4組:山田・岸川)(5組:山田・岸川)(6組7組文系:春田・山本)(6組7組理系:岸川・山田)

使用教科書: (新編 数学Ⅱ(数研出版))

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・原則を体系的に理解できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を育てる。

科目 数学Ⅱ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
多項式の除法や分数式の計算の方法を考える活動を導入し、計算の方法について理解を深めさ	の事象などを数学的に捉えて、問題を解決でき	問題解決に向けて粘り強く柔軟に考え、数学的 論拠に基づいて判断しようとする態度を育て る。また、数学のよさを認識し数学を活用しよ うとする態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	3章 三角関数 【知識及び技能】 弧度法による角度の表し方につい で理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組めるようにする。	 ・指導項目 1節 三角関数 2節 加法定理 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用 	【知識・技能】 三角関数の加法定理や2倍角の公式を適切に活用することができる。 【思考・判断・表現】 三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	0	0	0	24
1	定期考査			0	0		1
学	1章 方程式・式と証明 【知識及び技能】 簡単な高次方程式について因数定理を用いてその解を求められるよう にする。 【思考力、判断力、表現力等】 等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組めるようにする。	 ・指導項目 1節 多項式・分数式の計算 2節 2次方程式 3節 高次方程式 4節 式と証明 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用 	【知識・技能】 様々な定理や公式を有効に用いて、正しく 計算することができる。 【思考・判断・表現】 日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、 方程式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとす る姿勢が見られる。	0	0	0	24
	定期考査			0	0		1
	2章 図形と方程式 【知識及び技能】 直線や円を方程式で表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 座標平面上の図形を、方程式で表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組めるようにする。	教科書及び問題集	【知職・技能】 座標平面上の直線や円を方程式で表すこと ができる。軌跡を求めることができる。 【思考・判断・表現】 図形の性質や位置関係について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	0	0	0	27
2	定期考査			0	0		1
学期	4章 指数関数・対数関数 【知識及び技能】 指数を正の整数から有理数へ拡張 する意義を理解させる。 【思考力・判断力、表現力等】 指数と対数を相互に関連づけて考 察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組 めるようにする。	 ・指導項目 1節 指数関数 2節 対数関数 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用 	【知識・技能】 指数や対数の方程式・不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 指数と対数を相互に関連づけて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	0	0	0	28
	定期考査			0	0		1
3 学期	察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組 めるようにする。	・使用教材 教科書及び問題集	【知識・技能】 導関数を用いて、関数の値の増減や極大・ 極小を調べ、グラフをかくことができる。 【思考・判断・表現】 積分の考えを用いてグラフで囲まれた図形 の面積を求める方法について考察することが できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとす る姿勢が見られる。	0	0	0	32
	定期考査			0	0		1
							合計 140
							140

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度 教科 数学 科目 数学B

教 科: 数学 科 目: 数学B 単位数: 2 単位

対象学年組:第 2 学年 6,7組

教科担当者: (岸川)

使用教科書: (新編 数学B (数研出版)

教科 数学 の目標:

【知 識 及 び 技 能】数学における基本的な概念や原理・原則を体系的に理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を育てる。

科目 数学B の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	THE INTER OF A CONTROL OF THE OWNER	問題解決に向けて粘り強く柔軟に考え、数学的 論拠に基づいて判断しようとする態度を育て る。また、数学のよさを認識し数学を活用しよ うとする態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1	1章 数列 【知識及び技能】 等差数列と等比数列について理解 させ、それらの一般項や和を求めら れるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 事象から離散的な変化を見出し、 その規則性を数学的に表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 間解決に向けて粘り強く取り組 めるようにする。 定期考査	 ・指導項目 1節 数列 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用 	【知識・技能】 等差数列や等比数列の一般項と和を求めることができる。 【思考・判断・表現】 数列の規則性を正しく捉え、数学的に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	0	0	0	12
学期	1章 数列 【知識及び技能】 いろいろな数列の一般項や和を求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 数列の和において、∑を用いて表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組めるようにする。	 ・指導項目 2節 いろいろな数列 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用 	【知識・技能】 いろいろな数列の一般項や和を求めることができる。 【思考・判断・表現】 いろいろな数列の和を、∑を用いて表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	0	0	0	1 12
	定期考査			0	0		1
	1章 数列 2章 統計的な推測 【知識及び技能】 漸化式で表された数列の一般項を 求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的帰納法を用いた証明につい て考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組 めるようにする。	 ・指導項目 3節 漸化式と数学的帰納法 1節 標本調査 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用 	【知識・技能】 漸化式で表された数列の一般項を求めることができる。 【思考・判断・表現】 数学的帰納法を用いた証明方法について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	0	0	0	13
学期	定期考査			0	0		1
	2章 統計的な推測 【知識及び技能】 確率変数と確率分布について理解 できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 確率分布の特徴をする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題が決に向けて粘り強く取り組 めるようにする。 定期考査	 ・指導項目 2節 確率分布 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用 	【知識・技能】 確率変数と確率分布について理解すること ができる。 【思考・判断・表現】 確率分布の特徴を、確率変数の平均や標準 偏差を用いて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとす る姿勢が見られる。	0	0	0	14
				0	0		1
学	2章 統計的な推測 【知識及び技能】 二項分布と正規分布の性質や特徴 について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 収集したデータを処理し、その母 集団の特徴や傾向を推測し判断できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組 めるようにする。	 ・指導項目 3節 正規分布 4節 統計的な推測 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用 	【知識・技能】 二項分布と正規分布の性質や特徴について理解することができる。 【思考・判断・表現】 収集したデータを処理し、その母集団の特徴や傾向を推測し判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	0	0	0	14
	定期考査			0	0		1
							合計
							70

年間授業計画 様式例

高等学校 令和7年度 教科

理科 科目 物理基礎| 単位数: 2 単位 理科

 教 科: 理科
 科 目: 物理基礎

 対象学年組:第 2 学年 1 組~ 7 組

 教科担当者:
 (1組:岩崎)
 (2,3,4,5,6,7組:上平)

 使用教科書:
 (第一学習社

)

教科 理科 の目標:

【知 識 及 び 技 能】 自然の事物、現象についての基本的な概念や法則を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 簡単な自然の現象に対して仮説を立てることができる。

【学びに向かうカ、人間性等】 グループワークや実験において積極的に取り組むことができる。

科目 物理基礎 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
計算ができる。 自然の事物、現象についての基本的な概念や法則を 知っている。 実験器具を安全に使用することができる。	問題について数式をつくることができる。	学習に向かう努力ができる。 実験やグループワーク等において協働的な行動 をとることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	単元 物理量の測定と扱い方、物体の運動 ・速さと時間、移動距離の関係の計算が できる。 ・身近な物理現象について考える。	指数、有効数字、物理量の計算 平均の速度、瞬間の速度、速度の合成、相対速度	【知識・技能】 計算をする。 【思考・判断・表現】 仮説を立てる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に対して努力する。 協働作業をする。	0	0	0	6
1	定期考査			0	0		1
学期	単元 物体の運動、力と運動と法則 ・直線運動について理解させる。 ・物体が直線上の運度するときの加速度 を計算できる。 ・等加速度直線運動についての計算がで きる。	速度の合成、相対速度、加速度、等加速度直線運動の速さと距離	【知識・技能】 計算をする。 【思考・判断・表現】 仮説を立てる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に対して努力する。 協働作業をする。	0	0	0	9
	定期考査			0	0		1
	単元 力と運動と法則 ・物体に働く力を作図できる。 ・運動の3法則を知る。 ・運動方程式をつくれる。	力の合成と分解、運動の法則、作用 反作用の法則、摩擦力、運動方程式	【知識・技能】 計算をする。 【思考・判断・表現】 仮説を立てる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に対して努力する。 協働作業をする。	0	0	0	14
	定期考査			0	0		1
2 学期	単元 力と運動と法則 ・物体に働く力を見つける。 ・運動方程式をつくれる。	運動方程式	【知識・技能】 計算をする。 【思考・判断・表現】 仮説を立てる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に対して努力する。 協働作業をする。	0	0	0	9
	単元 エネルギー ・仕事を知り、計算できる。 ・運動エネルギーを知る。 ・位置エネルギーを知る。 ・力学的エネルギーを知る。	仕事、仕事率、仕事の原理、運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギー	【知識・技能】 計算をする。 【思考・判断・表現】 仮説を立てる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に対して努力する。 協働作業をする。	0	0	0	2
	定期考査			0	0		1
	単元 エネルギー ・力学的エネルギー保存の法則を理解で きる。 ・熱量の計算ができる。	力学的エネルギー保存の法則、比 熱、熱容量、熱量、熱力学第一法則	【知識・技能】 計算をする。 【思考・判断・表現】 仮説を立てる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に対して努力する。 協働作業をする。	0	0	0	9
3 学期	単元 波の性質、音波 ・波の性質を知る。 ・波の性質を知る。 単元 電気 ・オームの法則を使える。 ・発電方法を知る。	波の分類、波の性質、音速、音の3 要素、音の性質、固有振動数 電荷、電流、抵抗、オームの法則、 合成抵抗、電力量、電流と地場、さ まざまなエネルギー	【知識・技能】 計算をする。 【思考・判断・表現】 仮説を立てる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に対して努力する。 協働作業をする。	0	0	0	6
	定期考査			0	0		1
							合計
							60

科目 体育 3 ^{単位} 保健体育 単位数:

 高等学校
 令和7年度
 教科

 教科:
 保健体育
 科目: 体育

 対象学年組:第
 2 学年
 1 組~
 7 組
 数 科: 保護保育 科 目: 保育 対象学年組:第 2 学年 1 組~ 7 組 教科担当者: 園山・阿原 使用教科書: (大修館書店 ステップアップ高校スポーツ2024 教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】 運動の合理的、計画的な実践を通して運動の楽しさや喜びを深く味わい、体力の必要性について理解しようとする。

【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。

運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、一人ひとりの違いを大切にしようとする意欲を育て、生涯にわたって 継続して運動に親しむ態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】

科日 体育 の目標:

71		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎体力を向上と基本的な運動技能の習得を目指し、運動の さや富びを味わおうとする。 運動の多様性や体力の必要性について理解し、それらの技能 につけようとする。	証 運動を通して自分を知り、自己の課題にあった解決方法を見つけることができる。グループ活動を通して、自己の考えを他者に伝える力を養う。これまでの活動を振り返り、改善策を考え実行することができる。	

)

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
A 男子 陸上競技 (2単位) 【知識及び技能】 記録の向上執導中の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 「学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマーを大すること。 とを冷静に受け止め、ルールやマーを大すること、一人一人の選上、自己の責任を果たそうとすること。このでは、いに応じた振伸、	スタートダッシュは地面を力強くキックして、	【知識及び技能】 記録の向上や職争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い が、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができている。 【思考力、判断力、表現力等】 運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者 に伝えることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 離上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを合幹に受け 止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を 果たそうとすること、一人人の違いに応じた課題や接触を大切 にしようとすること。	0	0	0	6
B 男子 ソフトボール (2単位) 「知識及び技能] 勝敗と破決しや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理味するともに、作戦に応じた技能で仲間と連携レケームを展開すること。 「思考した技能で仲間と連携しケームを展開すること。 「思考した。」 「思考した。」 「思考した。」 「現功方、表現力等」 現功的などの自己やケームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 「学びに向かう力、人間性等」 政技に自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 は、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 は、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 は、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 は、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 は、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 は、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 は、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 は、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 は、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 は、自己や仲間の表した。 は、自己や仲間のある。 は、自己や仲間の表した。 は、自己や仲間の表した。 は、自己や仲間の表した。 は、自己や仲間の表した。 は、自己や仲間の表した。 は、自己や仲間の表した。 は、自己や仲間の表した。 は、自己や仲間の表した。 は、自己や仲間の表した。 は、自己や仲間の表した。 は、自己や仲間の表した。 は、自己や仲間の表した。 は、自己や仲間の表した。 は、自己や仲間の表した。 は、自己や仲間の表した。 は、と、と、し、し、と、と、し、と、と、し、と、と、と、と、し、と、と、と、と、	・スピードを落とさずに円を描くように塁間を走ること。 ・打球や守備の状況に応じた塁の回り方で、塁を 近がり戻ったりすること。 ・捕球場所へ最短距離で移 ・味方からの送球を受けるために、走者の進む先 の塁に動くと。 ・打球や走者の位置に応じて、中継プレイに備え る動きをすること。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携レゲームを展開することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 収防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むともに、フェアなブレイを大切にしようとすること・一様などについての話合いに貢献しようとすること・、一人一人の違いに応じたブレイなどを大切にしようとすること・、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができている。	0	0	0	8
C 男子 木林 (2単位・1単位) 【知識及び技能】 「知識及び技能」 「知識及び技能」 「知識及び技能」 「知識なり、	にかくこと。 ・流線型の姿勢を維持して、しなやかでリズミカ ルなキックを打つこと。 ・肩のローリングを使って最小限の頭の動きで呼 吸を行うこと。 〇 平泳ぎ ・キックは足の裏で力強くけること。 ・全体的に1回の動作で大きく進むこと。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い 方、体力の高の方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に依ぐとができている。 思考力、判断力、表現力等】 派法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に 伝えることができている。 「学びに向かう力、人間性等】 本次に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、 ルールヤマナーを大切にしようとすること。自己の表在を果たそう。 うっちることなど、本家の事故的正に課題や挑戦を大切にしよ と妙康・安全を確保することができている。	0	0	0	9
D 男子 バレーボール (1単位) 【知識及び技能】 新版と破う迷しや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、乗用か写】 「思考力、判断力、乗用か写】 「思考力、判断力、基力等】 「思考力、判断力、を担かす。 「思考力、判断力、を担かす。 「思考力、判断力、を担かす。 「思考力、判断力を担かった技能で仲間と連携した。 「という自己やゲームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 「学びに向かう力、人間性等】 「学びに向かう力、人間性等】 「学びに向かう力、人間性等」 「学びに向かう力、人間性等」 「学びに向から力、人間性等」 「学びに向かう力、人間性等」 「学びにかかったことを他者に、フェアなブレイを大切にしようとすること、作歌などについての話合いで貢献しようとすること。 「はいじたプレイなどを大切にしようとすること、健康・安全を確保すること。	た場所に打ち返すこと。 ・ 攻撃につがげるための次のプレイをしやすい 高さと位置にボールを上げること。 ・ ネット付近でボールの侵入を防いだり,打ち返したりすること。 ・ 腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。 ・ ボジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすること。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の 高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作歌に応じた 技能で仲間と連携・ゲームを展開することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 変防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて 運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたこと を他者に伝えることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ ・ ・ ・ ・ はないでいての話合いに貢献しようとする と、一人人の強いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、一人人の強いに応じたプレイなどを大切にしようとする と、一人人の強いに応じたプレイなどを大切にしようとすること。 ・ 第4年を発生のできている。	0	0	0	8

I 利	A 女子 陸上競技 (2単位) 【知識及び共能】 記録の向上や戦争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高力方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するともに、自己の考えたことを相手に残えること。 【学びに向かう力、人間性等】 強上競技に自主的に取り振むとともに、勝敗などを治律と受け止め、ルールや・ナーを大切にしようとすること。 しいに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、健康・安全を確保すること。	○短距離走 ・合理的なフォームを身に付け、個人のタイムを 短縮し、競走できるようにする。 ・スタートダッシュは地面を力強くキックして、 徐々に状態を促こして加速できるようにする。 ・疾を後半でスピードが著しく低下しないよう、 力みのないリスミカルな動きで走ること。	【知識及び技能】 記録の向上や戦争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い が、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができている。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の機種を発見し、合理的な解決に向けて 運動の取り組み方を工大するとともに、自己の考えたことを他者 に伝えることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上戦技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け 止め、ルールやマナーを大切にしようとすること。自己の責任を 果たそうとすること。一人一人の違いに応じた悪魔や機戦を大切 にしようとすることができて いる。	0	0	0	
	B 女子 バスケットボール (2単位) 【知識及び状態】 開散を破う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するととは、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 収訪などの自己やゲームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するととした。自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自立的に取り組むとともに、フェアなブレイを大切にしまうとすること。作戦などについての話合いに貢献しようとすること。作戦などについての話合いに貢献しようとすること。作戦などについての話合いに貢献しようとすること。作戦などについて、に応じたブレなどを大切にようとすること。 基いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・防御をかむして相手陣地やゴールにボールを運ぶこと。 ・味方が作り出した空間にバスを送ること。 ・空いた空いで運ぶこと。 ・空は気にと。 ・守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きと見ながらボール をキーブすること。 ・ 哆形を整えるためにボールを他の空間へ動かすこと。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の 高め方、運動線の方法などを理解するとともに、作戦に応じた 技能で仲間と連携しゲームを展開することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 実防などの自己やチームの課題を發見し、合理的な解決に向けて 運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたこと を他者に伝えることができている。 【学びに向かシカ、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしよ うとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとする と、一人一人の違いに応じたアレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができている。	0	0	0	
	C 女子 水泳 (2単位・1単位) 【知識及び技能】 「知識及び技能】 「認識の向上や戦争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法 などを理解するとともに、効率的に冰ぐと。 【思考力、判断力、表現力等 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するととも、自己の市工を対して伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自立的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること。自己の責任を果たそうとすること、一人の透染に広じた課題が無後大切にしようとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得を連守するなど健康・安全を確保すること。	○クロール ・手は遠くの水をつかむように前方に伸ばすこと ・ ・計を曲げて腕全体で水をとらえ、加速するよう にかくこと。 ・ ・流線型の姿勢を維持して、しなやかでリズミカルなキックを行つこと。 ・ 飛のローリングを使って最小限の頭の動きで呼吸を行うこと。 ○ 平泳ざ ・ キックは足の裏で力強くけること。 ・ 全体的に1回の動作で大きく進むこと。 ・ 2 本体的に1回の動作で大きく進むこと。 ・ 2 ・ ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・	【知識及び技能】記録の向上や聴等の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い 記録の向上や聴等の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い 方、体力の高かう、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に除ぐとができている。 【思考力、判断力、表現力等】 然法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に 伝えることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 木冰に自主時に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、 ルールやマサーを大切にしようとすること、自ての表すたを大した うとすること、一人一人の違いになじた課題や概範を大切にうことすること、一人一人の場になじた関連や概範を大切にようとすることができている。 ど健康・安全を確保することができている。	0	0	0	
	D 女子 卓球 (1単位) 【知識及び技能】 勝敗を慰う薬しさや喜びを味わい、技術の名称や 行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作歌に応じた技能で仲間と連携 レゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】	ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート	【知識及び技能】 朋敬を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能作用で連携しゲームを展開することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自心やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 理技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすること、一人一人の強いに応じたアイなどを大切にしようとすること、一人一へ強いに応じたアイなどを大切にしようとすること、一人で強いにないたアイなどを大切にしまうとすること、更いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができている。	0	0	0	
	E 男女体つくり運動 (2単位) 【知識及び非態】 実生所にあった理動の計画では、おらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むこと。【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 体つくり運搬に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること。一人一人の違いに応じた動きなどを大切によりとすること。話合いに質做しようとすること。	・運動不足の解消や体調維持のために、食事や睡 販などの生活習慣の改善も含め、体憩時間や家庭 なとで日常的に行うことができるよう効率のよい をとて日常的に行うことができるよう効率のよい 総合やマハランスのよい組合せで運動の計画を立てて取 り組むこと。 ・調和のとれた体力の向上を図ったり、選択した 運動やスポーツの場面で必要とされる体の動きを 高めたりするために、効率のよい組合せやバラン スのよい組合せで運動の計画を立てて取り組むこと。	【知識及び抜胎】 実生活に生かす運動の計画では、おらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 己己や神町の理理を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 (学びに向かう力、人間性等】 体つくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること。一人一人の違いに応じた動きとどを大切にしようとすること。話合いに貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができる。	0	0	0	10

A 男子 大旅 (2単位) 【知識及び技能】 (2単位) 【知識及び技能】 (2 知識及び技能】 (2 知識及び技能】 (2 知識及び支援を持ち、とから高め方、運動観察の方法などを直接するとともに、効率的に殊ぐと。 【思考力、判断力、表現力等】 旅法などの自己や中間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自口の考えたことを他者と伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 (本族に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け出め、ルールやマナーを大切にしようとすること。 という (2 大阪大阪工作) (2 大阪工作) (2 大阪大阪工作) (2 大阪工作) (2 大阪工作用) (2 大阪工作) (2 大阪	○クロール ・手は遠くの水をつかむように前方に伸ばすこと。 ・別を曲げて腕全体で水をとらえ、加速するよう にかくこと。 がなこと。 ・流線型の姿勢を維持して、しなやかでリズミカ ルなキックを行つこと。 ・肩のローリングを使って最小限の頭の動きで呼吸を行うこと。 ・全体的に1回の動作で大き、進むこと。 ・名体的に1回の動作で大き、進むこと。 ・スカーリング動作を伴ったストロークを行うこと。	知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い 方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、 効率的に称ぐとができている。 【思考力、判断力、表現力等】 床法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、 自己の考えたことを他者に 伝えることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 水冰に自主的に取り組むとともに、 勝敗などを治静に受け止め、 ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や懇談を大切にしようとすることとで、 大水の事態が止に関する心格を遵守するなど健康・安全を確保することができている。	0	0	0	8
B 男子 バスケットボール (2単位) 【知識及び技能】 勝敗を競り楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体内の高め方、運動観象の方法などを理解するともに、作戦に応じた技能で仲間と連携レゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを在工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなブレイを大切にしようとすること。作戦などについての話かに貢献しようとすること。と、人一人の違いに応じたブレイなどを大切にしようとすること、互いに助けたブレイなどを大切にしょうとすること。	・防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶこと。 ・味方が作り出した空間にバスを送ること。 ・実力な空間に向かってボールをコントロールして運ぶこと。 ・守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方 と相手の動きを見ながらボール をキープすること。 ・隊形を整えるためにボールを他の空間へ動かすこと。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するともに、作帳に応じた技能で仲間と連携しゲームを提問することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 交防などの自やサームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができている。 「学びに向かう力、人間性等】 非技に自主がに即り組むとともに、フェアなブレイを大切にしようとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすると、一人一人の選いに応じたプレイなどを大切にしようとすると、一人一人の強いに応じたプレイなどを大切にしようとすると、五いに助け合い敬え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができている。	0	0	0	10
C 男子 サッカー (2単位) 【知識及び技能】 「知識及び技能】 「教しさや喜びを味わい、技術の名称や符い方、体力の高が高、運動製度が洗などを理解するともに、住職に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断方、表現力等】 【思考力、判断方、表現力等】 【思考力、判断方、表現力等」 【思考力、自用性等】 「というな解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 「学びに向かう力、人間性等】 「学びに向かう力、人間性等】 「学びに向かう力、人間性等】 「学びに向から力、人間性等」 「学びに向から力、人間性等」 「学びにからなどもに、フェアなプレイを大切にしようとすること。 「といたがくなどを大切にしょうとすること。 東・安全を確保すること。 康・安全を確保すること。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶこと。 ・味方が作り出した空間にパスを送ること。 ・空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶこと。 ・守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方 と相手の動を見ながらボール をキープすること。 ・痰形を整えるためにボールを他の空間へ動かすこと。	【知識及び技能】 勝敗を敵う業しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の 高め方、強動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた 技能で仲間・連携しゲームを展開することができている。 【思考力、判成力を工夫するとともに、自己や仲間の考えたこと 変防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて 運動の取り組力を工夫するとともに、自己や仲間の考えたこと を他者に伝えることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしよ シとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとする と、互いに助づらい教え合おうとすることなどや、健康・安全を 確保することができている。	0	0	0	8
り男子 ダンス (1単位) 【知識及び技能】 からり、みんなで自由に踊ったり、 みんなで自由に踊ったり、するにとや客びを味わい、ダスボや発表の仕また。	・創作ダンスでは、表したいデーマにふさわしい イメージを捉え、個や群で、対極の影や空間の 使い方で変化をつけて即興的に表現したり、イ メージを強調した作品にまとめたりして踊るこ ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を 機調して全条で自由に踊ったり変化とまとまり を付けて仲間と対応したりして踊ること。	【知識及び技能】 感じを込め下贈ったり、みんなで自由に贈ったりする楽しさや喜 びを味わい、タンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交 流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解する たともに、イメージを深めた表現や贈りを通した交流や発表をすることができている。 思考力、判断力、表現力等】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを 健社に伝えることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ダンスに自主時に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おう とすること、信命や発表などの結合いに貢献しようとすることな とすると、自由や発表などの結合いて貢献しようとすることな で、健康・安全を確保することができている。貢献しようとすることな を、健康・安全を確保することなどや、健康・安全 を確保することができている。	0	0	0	12

A 女子 木林(2単位) 【知識及び技能】 「知識及び技能】 「競響の向上や領争の楽しさや喜びを味わい、技術 遊艇の向上や領争の楽しさや喜びを味わい、技術 の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法 などを理解するとともに、効率物に水ぐと。 【思考力、判断力、表現力等】 核法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な 解案に向けて運動の取り組み方を工夫するとも に、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 「学びに向かう力、人間性等」 「学びに向かう力、人間でいる。 「学びに向かう力、人間でいる。 「学びに向かう力、人間でいる。 「学びに向かう力、人間でいる。 「学びに向かう力、人間でいる。 「学びに向かう力、人間でいる。 「学びに向かう力、人間でいる。 「学びに向かう力、人間でいる。 「学びに向かう力、人間でいる。 「学びに向かう力、人間でいる。 「学びにからかる。」 「学びに向かう力、人間でいる。 「学びにからかる。」 「学がないる。」 「学がないる。 「ないないる。 「学がないる。 「学がないる。 「学がないる。 「学がないる。 「学がないる。 「	・財を曲げて腕全体で水をとらえ、加速するようにかくこと。 にかくこと。 ・流線型の姿勢を維持して、しなやかでリズミカ ルなキックを打つこと。 ・肩のローリングを使って最小限の頭の動きで呼吸を行うこと。 ・キックは足の裏で力強くけること。 ・全体的に1回の動作で大きく進むこと。 ・全体的に1回の動作で大きく進むこと。 と	【知識及び技能】 記録の向上や確学の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い 方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効 率的に旅ぐとができている。 【思考力、判断力、表現力等】 状法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運 動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に 伝えることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、 ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそ うとすること、一人一人の違いに応じた課題や継載を大切にしよ うとすることなどや、水泳の事故的にに関する心得を遵守するな ど健康・安全を確保することができている。	0	0	0	
B 女子 ソフトボール (2単位) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や 行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携 レゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの即組み方を工失するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 耿枝に自主的に取り組むとともに、フェアなブレイを大切にしまうますること。 【味成などについないに貢献しよりとすると、一人への違いに応じたブレイなどを大切にしようますること。 版・安全を確保すること。	・スピードを落とさずに円を描くように塁間を走ること。 ・打球や守備の状況に応じた塁の回り方で、塁を連んだり戻ったりすること。 ・捕球場所へ最短距離で移 ・味方からの連承を受けるために、走者の進む先 の翼に動くこと。 ・打球や走者の位置に応じて、中継プレイに備える動きをすること。	【知識及び技能】 朋政を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観視の方法などを理解するともに、作戦に応じた技能で仲間と継載化ゲームを限開することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 双防などの自宅やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 【学びに向かう力、人間性等】 は技に自主的に取り組むとともに、フェアなブレイを大切にしようとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすることうと、一人一人の違いに応じたアレイなどを大切にしようとすること、一人い意味に応じたアレイなどを大切にしようとすること、「私の違いに応じたアレイなどを大切にしまうとすること、五いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができている。	0	0	0	
C 女子 バレーボール (2単位) 【知識及び技能】 動戦な受力を能 動戦な変力を聴ける。 動戦な変力を表しる。 「対している。 「担害力、判断力、運動観察の方法などを理解するとともに、作職に応じた技能で仲間と連携 しゲームを展開すること。 「思考力、判断力、表現力等】 「思考力、判断力、表現力等」 「思考力、判断力、表現力等」 「は応えいる」との理的な解決に向けて運動の取り組み方を止まするとともに、自己や中間の考えたことを他者に伝えること。 「学びに向かう力、人間性等】 理球に自主的である。一人人のなどについないに応じたプレイを大切にしようとすること、作戦などについての結合いに質しようとすること、一人人のないに応じたプレイなどを大切にしようとすること、使していたプレイなどを大切にしようとすること、検 「安全を確保すること。	た場所に打ち返すこと。 ・ 攻撃につかげるためがたのプレイをしやすい 高さと位置にボールを上げること。 ・ ネット付近でボールの侵入を防いだり,打ち返 したりすること。 ・ 腕やラケットを強く振って、ネットより高い位 値から相手側のコートに打ち込むこと。 ・ ボジションの役割に応じて、拾ったりつないだ り打ち返したりすること。	勝敗を競り楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の 高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた 技能で仲間と連携しゲームを展開することができている。 【思考力、判断力、表現力等】	0	0	0	
D 女子 ダンス (1単位) 【知識及び技能】 感じを込めて帰ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや暮びを味わい、ダンスの名称や用 語、踊りの特定と表現の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や鯔りを通した交流や発表をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 素現むどの自己や中間の運動を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や中間の考えたことを他社に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 グンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け話や数え合かとすること、一人一人の違いになったま失物を対しまりますること。一人一人の違いになった表現や教制を大切にようとすることなどや、健康・女全を確保すること。	メージを強調した作品にまとめたりして踊ること。 ・現代的なリズムの特徴を 機関して全身で自由に踊ったり、変化とまとまり を付けて仲間と対応したりして踊ること。	【知識及び技能】 感じを込めて觸ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜 びを味わい、ゲンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交 途や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解する とともに、イメージを深めた表現や踊りを通した交流や発表をす ることができている。 【思考力、判断力、表現力等】 表現などの自己や性間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運 動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを 他社に伝えることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おう とすること。作品や発表などの結合いに貢献しようとすること、 とったし、作品や発表などの結合いに貢献しようとすることと どや、健康・安全を確保することができている。貝能とようさん どや、健康・安全を確保することができている。貝能とようさる こと、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができている。	0	0	0	

	A 男子 陸上戦技 (2単位) 【知識及び技能】 記録の同上で観争の楽しさや喜びを味わい、技術法の向上で観争の楽しさや高が表現を持ちなどを情報するともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫のともに、自己の考えたことを相合に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを治静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること。自己の責任を果たそうとすること、一人一人の強報を大切にしようとすることと、一人で発展を表現して、	○長王隆 リリミカルに腕を振り、力みのないフォームで 軽快に走ること。 ・呼吸を楽にしたり、走りのリズムを作ったりす る呼吸法を取り入れて走ること。	知識及び技能] 記録の向上や磯争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い 方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができている。 【思考力、判断力、表現力等] 動きなどの自己や仲間の展題を発見し、合理的な解決に向けて 運動の取り組み方を工大するとともに、自己の考えたことを他者 に伝えることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け ルルルールやマナーを大切にしようとすること。自己の責任を 果たそうとすること。 人一人の違いに応じた課題を挑戦を大切 にしようとすることができて いる。	0	0	0	10
	B 男子 卓郎 (1単位) 【知識及り技能】 脂販を體う率しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作職に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自立的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしよりました。と 「はに近したプレイなどを大切によりとすること、作戦などについて、 ほ応じたプレイなどを大切によりとすること。 東・安全を確保すること。 健康・安全を確保すること。 健康・安全を確保すること。	○ 卓球 ・サービスでは、ボールをねらった場所に打つこと。 ・ボールを相手側のコートの空いた場所がねらった場所に打ち返すこと。 ・ 攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さと位置にボールを上げるこ ・ネット付正でボールの侵入を防いだり、打ち返いを関から相手側のコートに打ち込むこと。 ・ の役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすること。 ・ デジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすること。 ・ デジショーで、味力の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーする。	【知識及び技能】 勝敗を聴う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の 高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作歌に応じた 技能で仲間と連携しゲームを展開することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 受防などの自己やゲームの課題を発見し、合理的な解決に向けて 運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたこと を他者に伝えることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主行のに取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしよ うとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとする と、一人一人の強いに応じたアンイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を 確保することができている。	0	0	0	10
3学期	A 女子 陸上競技 (2単位) 【知識及び状態】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方 法などを理解するともに、各種目特有の技能を 身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するともに、自己の考えたことを相手に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り銀むとともに、勝敗など合静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすること。	・呼吸を楽にしたり、走りのリズムを作ったりす。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができている。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り銀むとともに、勝敗などを冷静に受け上め、ルールやマナーを大切にしようとすること。自己の責任を果たそうとすること。 人一人人の違いに応じた課題を挑戦を大切にしようとすることをとや、健康・安全を確保することができている。	0	0	0	
	8 女子 バドミントン (1単位) 【知識及び状態】 「知識及び状態】 「動職及で被害。 「熱力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 「思考力、判断力、表現力等】 「思考力、判断力、表現力等」 「思考力、判断力、表現力等」 「思考力、判断力、表現力等」 「思考力、判断力、表現力等」 「思考力、判断力、表現力等」 「思考力、判断力、表現力等」 「思考力、判断力、表現力等」 「思考力、判断性等」 「学びに向かう力、人間性等」 「学びに向かう力、人間性等」 「学びに向かう力、人間性等」 「学びに向かう力、人間性等」 「学びに向かう力、人間性等」 「学びに向かった、アーマアなブレイを大切にしようとすること、作戦などについている話令と下がしたプレイなどを大切にしようとすること、使取いた助けや教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	らった場所に打ち返すこと。 、 攻撃につなげるための次のプレイをしやすい 高さと位置にシャトルを上げること。 ・ ネット付近でシャトルの侵入を防いだり、打ち 返したりすること。 ・ 腕やラケットを強く振って、ネットより高い 位置から相手側のコートに打ち 込むこと。 ・ ボジションの役割に応じて、拾ったりつないだ り打ち返したりすること。 ・ ブリーの中で、味方の動きに合わせてコート	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動験の方法などを無味するとともに、作敬に応じた 技能で仲間と連携しゲームを展開することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 収防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて 運動の取り組立方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたこと を他者に伝えることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしよ うとすること、作職などについての話合いに貢献しようとすること と、互いに即づらい教え合おうとすることなどや、健康・安全を 確保することができている。	0	0	0	
	C 男女 体育理論 (2単位) 【知識】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について無解すること。 スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理 るが時代に広げて多様に変替してきていること。 また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよ い解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かる力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のス や理念を整理したり、自己のなポーツへの関わり を見いだしたりして、自己や社会にスポーツがも たらす影響について課題を発見すること。 ・スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環 境や社会へもたらす影響について、習得した知識 境や社会へもたらす影響について、習得した知識 の解決に向けて、自己の提集を音楽や文章などを 通して他者に伝えること。	【知識】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。 スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりまし、 い解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	0	0	0	6 습위 105

高等学校 令和7年度(2学年用) 教科 保健体育 科目 保健

 教 科: 保健
 科 目: 保健
 単位数: 1 単位

対象学年組:第 2 学年 1 組~ 7 組

教科担当者: (127組:園山) (3~6組:阿原)

使用教科書: (現代高等保健体育)

教科 保健体育 の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考カ、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力あ

生涯にわたって継続して連動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力め 【学びに向かう力、人間性等】 る生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かうカ、人間性等】
個人生活及び社会生活における健康・安全について,課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し,知識を身に付けたことを言ったり書いたりできるようにする。	て、課題の解決を目指して考え判断できるようにする。	個人生活や社会生活における健康・安全に関心をもち、仲間と協力し、資料を集めたり、意見を交換したり、課題について調べたりして、意欲的に学習に取り組めるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	正誰を適じる健康 知識及び技能] ・ 思孝期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理 面、行動面などの変化に関わり、健康課題が起じることがあ ることについて、理解する。 ・ 思孝期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や 現住を理解した申離したりする態度が必要であること、及 び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについ 、理解する。 ・ 超齢生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点か 直觸する。	ワイアステーンと健康・ ・ライフステージと健康の関連について説明できる。 ・各ライフステージで活用できる社会からの支援について何をあげることができる。	言ったり書いたりしている。 ・思奉期の心をの変化に気むして、自分の行動への責任感や異性を理解したり 構工したりする態度が必要であること。及び性に関する情報等への適切な対処 が必要であることについて、現解したことを言ったり書いたりしている。 ・結婚生となった。ことがの処理や健康の保持措施の概点から関係したことを ・受精、妊娠、日盛とそれに伴り健康課題について、理解したことを言ったり 等以計りしている。 ・実践計画の意像や人工多様中絶の心多への影響などについて、理解したこと	0	0	0	1
	・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、理解する。 ・家族計画の意義や人工妊娠中途の心身への影響などについて、理解する。 ・結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任 総、良好な人間限保や家族や別りの人からの女捷、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービ の活用が必要であることについて、理解する。 ・中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康 診断の定期がな診かどの自己等理を行うこと、実態やな人など との良好な関係を保つこと、操能における交流をもつことが、	思春期と健康 ・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明でき る。 ・思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあ げることができる。	を言ったり事いたりしている。 ・結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係 や家族や周りの人からの支援、及び房子の健康診査の利用や保険機能数などの 様々な保健、医療サービスの活用が必要であることについて、別無したことを 言ったり事いたりしている。 ・中高年期をやかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受 診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組 むこと、家族や文人などとの身がな関係を係っこと、地域における交流をもっ ことなどが関係することについて、理解したことを言ったり事いたりしてい る。 ・高齢期には、知齢に伴い、心身の機能や形態が変化すること、他、回収が出 個人差があること、疾病平本板のリスのが高まること、他嫌に知ばな	0	0	0	1
	2が関係することについて、現無する。 高齢期により、動能に伴い、全身の機能や形態が変化すること、その変化には個人差があること、実例や事態のリカスタが 解すること、健康の目後が実施付する傾向にあることについて、 2000年から、1、認知底を含む疾病等への対は、事故の防 は、生活の関係性、介護などの必要性が高まることなどから、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて、理解する。	性意識と性行動の選択 ・性意識の分差について何をあげて説明できる。 ・性情報が性行動の選択に影響を及ぼす何をあげることがで きる。	る傾向にあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 高齢社会では、認知金を合業病等への対象、事後の防止、先指の質の保 持、介護などの必要性が高まることなどから、保健、医療・福祉の連携と総合 的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしてい る。 ・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴 い質や量が変化してきたことについて、理解したことを言ったり書いたりして いる。 ・労働、よる修言や職業病などの労働、関連したことを言ったり書いたりして いる。 ・労働、子格災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめ	0	0	0	1
	とについて、理解する、 労働による信客や職業病などの労働災害は、作業形態や作 策環域の変化に伴い質や量が変化してきたことについて、理 解する。 ・労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長 時間労働をはじめとする過事労働の防止を合せ健康管理と安 全管理が必要であることについて、理解する。 ・働く人の健康の保持地産は、職場の健康管理や安全管理と ともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図 られることで成り立つことについて、理解する。	妊娠・出産と健康・妊娠 ・出産の選尾における健康課題について説明できる。 ・妊娠・出産期に活用できる男子保健サービスの例をあげる ことができる。	りしている。 ・億く人の日常生活においては、積極的に余暇を活用するなどして生活の質の 向上を図ることなどで健康の保持増進を図っていくことが重要であることにつ いて、を理解したことを含ったり書いたりしている。 【現ま力、判断力、参照力等】	0	0	0	1
	・生態の各段階における健康について、健康に関わる原則や 服金を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりし て、自他や社会の課題を発見できる。 ・思寿期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達 を強切に敷化件・健康課題を解決するために、性に関わる情 報を適切に整理できる。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活 に件う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医 に作う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医	避妊法と人工妊娠中絶 ・家族計画の意義と選切な避妊法について説明できる。 ・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。	・生態の各投際における無味について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の選題を発見している。 思寿期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切い整理している。 結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に作う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 、加齢と健康について、習得した知識を基に、中帝判別疾病や事故のリスタ 軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生態の各層院における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それ を選択した理想などを話し合ったり、ノートなどに記述したりて、新道を公	0	0	0	1
	藤サービスの店用方法を整理できる。 ・加齢と健康について、習問人と知識を基に、中高年期の疾 病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評 値できる。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の 解放方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノー トなどに記述したりして、筋道を立て説明できる。 ・労働と健康について、健康、限制る原則や概念を基に整理 したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会 の課題を発見できる。	結婚生活と健康 ・心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。 ・結婚生活を健康的に迷るために必要な考え方や行動をあげることができる。	てで説明している。・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり。個人及び社会生活と関連付け方りして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の機体の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用している。 ・労働派客と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理している。 ・労働後官と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを結し合ったり、ノートなどに記述したりして、 施道を立てて説明していた。	0	0	0	1
	い 西地で発見できる。 ・ 働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、 生活の質の向上を図ることと問題付けて、護師解決の方法に 応用できる。 ・ 労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害 の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理できる。 ・ 労働と健康について、自他や社会の護題の解除方法と、そ おを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述し たりして、筋道を立てて説明できる。	中高年期と健康・加齢にともなう心身の変化について何をあ げて説明できる。 ・高齢社会に必要な社会的な取り組みについて何をあげて説 明できる。	る。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り 組もうとしている。労働、健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に 取り組もうとしている。	0	0	0	1
	【学びに向かう力、人間性等】 生態の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組むことができる。	働くことと健康 ・働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できる。 ・働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。		0	0	0	1
		定期考查		0	0		1
		労働災害と健康 ・労働災害の種類とその原因について何をあげて説明でき さ、労働災害を防止するために必要なことをあげることができ る。		0	0	0	1
		接妻的な職業生活 ・職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて 設明できる。 ・余暇を積極的にとることの意義について説明できる。		0	0	0	1

	機能を支える環境づくり 「知識及び技能」 ・人間の生活や確実活動は、大気汚染、水質汚馬、土壌汚染 などの自然機塊汚跡を引き起こし、機能に影響を及ぼしたり 被害をもたらしたりすることがあるということについて、理 解する。 ・機能へ影響や被害を防止するためには、汚染物質の排 をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適関に処理	大気汚象と健康 ・大気汚象の原因と健康への影響について例をあげて説明で きる。 ・大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説 明できる。	【知識及び抹點】 人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚潮、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をたちらしたりすることがあるということについて、理解したことを含ったり割かたりしている。 ・健康・の影響や被害を助止するためには、汚染物質の排出をできっだけ抑制したり、排出もた汚染物板を通りに処理したりすることなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 健康・の影響や被害を助止するために環境基本だなどの法律等が解定されて	0	0	0	1
	したリナることなどが必要であることについて、理解する、 ・健康・の影響や被害を防止するために環境基本などの法 排等が朝史されており、環境基準の設定、排出物の規制、 態度は解り整備などの総合の・計画的対策が漏じられているこ とについて、理解する。 上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理す る等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生 話における環境、及び人への健康を守るために行われているこ	本質汚無、土壌汚染と健康 ・水質汚無、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。 ・大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしく みについて説明できる。	おり、環境基準の設定、検出物の規制、監視体制の整備などの総合的・計画的 対策が議じられていることについて、理解したことを含ったり書いたりしている。 ・上下水道の整備、ごみやし限などの原棄物を適切に処理する等の環境衛生活 動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を であたかに行われていることについて、理解したことを含ったり書いたりして いる。 ・人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり。	0	0	0	1
2 学期	ことについて、理解する。 ・人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻 な被害をもたらすことがあり、食品の安全性を確保すること は健康の保持物造にとって重要であることについて、理解する。 ・食品の安全性を確保するために、食品衛生法などの法律等	環境と健康にかかわる対策・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。・産業廃棄物の処理について説明できる。	食品の安全性が明なわれると、健康に深刻な破害をもたらすことがあり、食品 の安全性を機能することは健康の保持機能として重要であることについて、 理解したことを言ったり書いたりしている。 ・食品の安全性を確保するために、食品衛生法などの法律等が制定されてお り、様々な基準と基づいで食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・ 加工、保存・減速など、各層階での適切な管理が重要であることについて、理 解したことを言ったり書いたりしている。	0	0	0	1
	が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行 われていることや、食品の製造・加工・保予・適適など、各 段階での適切な管理が重要であることに使いて、理解する。 ・食品衛生に関わる健康按章の防止と健康の保持機には、 適切に情報を公開、活用するたど行政・生産等・製造者・ 賃貸者などが互いに関係を保ちながら、それぞれの役割を果た すことが重要であることについ、理解する。	ごみの処理と上下水道の整備 ・ごみの処理の現状やその課題について説明できる。 ・上下水道の人分を健康にかかわる課題を説明できる。	・食品布生に関わる健康妨害の防止と健康の保持物準には、適切に精報を公開、活用するなど育改・生産者、製造者・消費などが互いに関係を保ちながら、それぞれの役割を果たすことが重要であることについて、理解したことを言ったり書かたりしている。 表が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療の保险合約たその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保险合約たその他の機関などから健康に関する情報、医療のいて、理解したことを言った。				
	・我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が 存在し、行政化その他の機関とから健康に関する情報、 医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなど が提供されていることについて、理解する。 ・健康を保持物態するためには、検診などを通して自己の健 集上の課題を的嬢に死退し、地域の保健所や保健センターな どの保健機関、病院や診療所などの医療機関、及び保健・医		たり書いたりしている。 ・健康を保持増生するためには、検診などを通して自己の健康上の舞舞を的確 に把握し、地域の保健所予保健センターなどの保健構開、病院や診察所などの 医療機関、及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要 であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・医薬品は、医療用医薬品。要指導医薬品、一般用医薬品の二つに大別され、 系提制度によってその有効性や安生化治療含されるり、販売に規則が設けら	0	0	0	1
	※サービスなどを適切に活用していくことなどが必要である ことについて、理解する。 ・医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の 三つに大切され、承認制度によってその有効性や安全性が審 まされており、販売に規制が受けられていることについて、 理解する。 ・疾病からの回復や悪化の防止には、個々の医薬品の特性を ・疾病からの回復や悪化の防止には、個々の医薬品の特性を	・ 其血の女主性、健康とのかかりたづいて説明できる。 ・ 食品の安全性に関する今日的課題について説明できる。	れていることについて、理解したことを言ったり事いたりしている。 ・疾病から回復や悪化の防止には、個々の医薬品の特性を理解した上で、使 用法に関する注意を守り、正しく被うことが必要であることについて、理解し たことを言ったり事いりしている。 ・我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活 動や社と的対策が行われていることについて、理解したことを言ったり書いた りしている。	0	0	0	1
	理解した上で、使用法に関する注意を守り、正しく使うこと が必要であることについて、理解する。 ・我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応 して各種の保護活動や社会的対策が行われていることについ で、理解する。 ・自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの	食品衛生にかかわる活動 ・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割につい で説明できる。 ・食品の安全性を確保するための個人の役割について説明で きる。	りしいか。 ・自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づい た、健康に関する環境づくりが重要であることについて、理解したことを言っ たり書いたりしている。 ・一人一人が健康に関心をもち、健康を支える適切な環境づくりに報修にあ 加していくことが必要であり、そのことが自分を含めた世界の人々の健康の保 持増進につながることについて、理解したことを含ったか書いたりしている。	0	0	0	1
	考え方に基づいた。健康に関する環境づくりが重要であることについて、理解する。 ・一人一人が健康に関心をもち、健康を支える適切な環境づくりに環境的に参加していくことが必要であり、そのことが自分を含めた世界の人々の健康の保持増進につながることについて、理解する。	定期考查	【思考力、判断力、表現力等】 ・環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び 社会生法に関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・人間の生活や確落活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、 事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善 書の方脈に応用している。	0	0		1
	【思考力、判断力、表現力等】 ・環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理 したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会 の震顕を発見できる。	保健サービスとその活用 ・保健行政の役割について例をあげて説明できる。	 環境と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを遵択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 ・食品と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び 				1
	・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用できる。・環境と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、統進を立てて限別できる。	 保健サービスの活用の例をあげることができる。 	社会生態と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・食品の安全性と島高等に関わる話師について、習得した知識を自他の日常 生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立ててい る。 ・食品と健康について、自他や社会の問題の解決方法と、それを選択した理由 などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、新道を立てて級明してい	0	0	0	1
	・食品と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる。 ・食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した 知識を自他の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を 保持増進するための計画が近てられる。	医療サービストその活用	る。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、健康に関わる原則や概念を基本整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・医薬品の制度とその店用について、医薬品には承認制度があり、販売に関いる が設けられていることと関連を持けながら、生活の質の向上のために利用の化方				
	・食品と健康について、自他や社会の護卿の解決方法と、そ なを選択した理由などを延しをかり、ノートなどに記述し たりして、結道を立てて説明できる。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、健康 に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と 関連付けたりして、自体や社会の課題で発見できる。 医薬品の制度とその活用について、医薬品には終影制度が あり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、 生活の質の自止のために利用して力を撤削できる。	 わが国における医療保険のしくみについて説明できる。 さまざまな医療機関の役割について説明できる。 	を整理している。 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、自他や社会の課題の解 決方法と、それを選択した理由など含結し合ったり、プールなどに記述したり ・様々な保健活動や社会的事業について、健康に関わる原則や概念を基に整理 ・様々な保健活動や社会的事業に対して、自他や社会の課題を発見して ・5。 ・地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用の仕方について、関連した情報 を整理し、生活の質の自上に向けた機関係決に応用している。	0	0	0	1
	五品の現の向山のにのに利用で11カでを強くころ。 保健・医療機関とび地域の保健・医療機関について、自他 や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し 合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明 できる。 ・様々な保健活動や社会的対策について、健康に関わる原則 や概念を基と整理したり、個人及び社会生活と間準付けたり	医療品の制度とその活用 ・医薬品の正しい使用法について説明できる。	・様々な保護指動や社会の可能について、自他や社会の問題の解決方法と、それを選択に関連などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、前道を立てて翌明している。 ・健康に関する原理となど話し合ったり、ノートなどに記述したりして、前道を立てて翌明している。 ・健康に関する原理を付りた社会参加について、健康に関する原則や概念を甚に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。				
	して、自他や社会の課題を発見できる。 ・地域の保健、医療機関やスポーツ施設の活用の仕方につい て、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解 炔に応用できる。 ・様々な保険機合動や社会的対策について、自他や社会の課題 の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、 ノートなどに記述したりして、筋道を立てで説明できる。	○展業品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。	・ヘルスプロモーションの考え方に基づいた。機能に関する環境づくりへ積極 的に参加していくために、適切な情報を選択・収集して、分析・評価し計画を 立てている。 ・健康に関する環境づくりと社会参加について、自他や社会の課題の解決方法 と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、 括道を立てて説明している。	0	0	0	1
	・健康に関する環境づくりと社会参加について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる。 ・ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する	さまざまな保健活動や社会的対策 ・国際機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説 明できる。	【学びに向かう力、人間性等】 ・環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとして いる。 ・食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとして				
3 学 期	環境づくり・観極的に参加していくために、適切な情報を選 快・収集して、分析・容価・計画を立てられる。 ・健康に関する環境づくりと社会参加について、自他や社会 の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合った り、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明でき る。	の、この。 ・行政機関による社会的対策について例をあげて説明できる。	いた。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学 部に主体的に取り組もうとしている。 ・様々保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に 取り組もうとしている。 ・健康に関する環形づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主 体的に取り組も多としている。	0	0	0	1
	【学びた向かう九、人間性等】 ・環境と機能について、課題の解決に向けた学習に主体的に 取り組める。 ・食品・健能について、課題の解決に向けた学習に主体的に 取り組める。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題 の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・様々な保健活動が社会的対策について、課題の解決に向け た学習に主体的に取り組める。 ・健康に耐する機能が引きの対策について、課題の解決 ・健康に関する機能が引きりません。	健康に関する環境づくりと社会参加 ・健康の保持関連のための環境づくりについて説明できる。 ・環境づくりへの主化的な参加が自他の健康づくりにつなが ることを説明できる。					
				0	0	0	1
		定期考查		0	0		1

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

単位数: 2 単位 教 科: 芸術 科 目: 音楽Ⅱ

対象学年組:第 2 学年 1 組~ 7 組

教科担当者: 保坂 悠紀

使用教科書: (高校生の音楽2 (教育芸術社 音Ⅱ702)

音楽 の目標:

創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現するこ 【知識及び技能】とができる。 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性等について理解する。

音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受し 【思考力、判断力、表現力等】 たこととの関りについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや 美しさを味わって聴くことができる。

【学びに向かうカ、人間性等】 音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことができる。

科目 音楽Ⅱ

の目標:

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
創意工夫等を生か 要な技能を身に付 で表現することか 曲想と音楽の構造	、した音楽表現をするために必 けけ、歌唱、器楽、創作、など	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって 聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、音

			+								
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		表現器		鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
	A 斉唱「校歌」「糸」「ホールニューロールド」 【知識及び技能】 ①創意工夫等を生かした音楽表現をするために表等を生かした音楽表現をするために、器楽、創作、表現力等人。 《思考力、判断力、表現力等】 ①音を感受したとの動力をしたころ表したことの動りについて表現を感受したととの別りについて表現を感受したとのあかにて表現を感受をもつ。 【学びにしい発声方法とに関心をもた、主体的・協働的に取り組む。	 ・歌詞の内容と表現 「糸」「ホールニューワールド」 ・英語の読み ・英語の意味 ・歌唱テスト「ホールニューワー 	0			0	【知識・技能】 ①創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現している。 【思考・判断・表現】 ①音色や旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に取り組んでいる。	0	0	0	10
1 学期	B 器楽「Stand by me」(ギター) 【知識及び技能】 ①音符と休符の意味を理解する。 ②器楽合奏をするために演奏する技能 者との調和を意識して演奏する技能 を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色、リスム、テクチェアを 知覚し、それらの働きを感受しなら、知覚したことを感受しならいの関したこと考え現意図をもつ。 【学びに向かう力、ズムパターンの変化と曲想との関りに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む。			0	0	0	【知識・技能】 ①音符と休符、音楽用語・記号の意味を理解できている。 ②器楽合奏をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ①リズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもつことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①音色の工夫やリズムパターンの変化と曲想との関りに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習に取り組めている。	0	0	0	10
	B ピアノ 【知識及び技能】 ①ピアノの奏生について理解する。 ②創意工夫を生かした器楽現をするために必要な、曲にふさ器楽 大き等の技能を身に付け、器楽 することができる。 【思考し、判断力、旋律、強勇等をが り、ため、もの働きするかにて を り、どのように表現することがで ら、よ変図 をもち、表 表現意。 【学びに向かう力、人間性や】 ①ピアノやピの協働的に器楽の学習活動 に取り組む。	・「メヌエット」練習		0			【知識・技能】 ①ピアノの奏法について理解している。 ②創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしいと器楽法等の技能を身に付け、器楽で表現することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色、リズム、旋律、強弱等を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように表現するかている。 【学びに向かう力、人間性等】 ①ピアノやピアノ音楽に関心をもち、主体的協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	0	0	0	20

2 学期	A 無質 「	・鑑賞「ウエストサイドストー リー」 ・歌語の読み ・英語の意味 ・英語の意味 ・発略標習 ・音楽用語(表現・強弱等) ・音楽号テスト	0		0	【知識・技能】 ①ミャウンカルについての知識を学び、その歴史や特別を理解している。 ②音楽の特徴を理解している。 ②音楽の特徴を理解している。 ②音楽の特徴とな歌唱表現や等の機能についての知識を学び、その関わり、歴史や特徴とを歌唱表現やいる。歌唱表現をからに変弱を変した。歌唱を生き、一次の技術を表現をある。 「思考楽面の場がある。」 「思考楽を面を見されている。との表現でいる。との表現でいる。との表現でいる。との表現でいる。との表現でいる。との表現でいる。との表現でいる。との表現でいる。との表現では、とやのにない。といる。 「ま体とで対するを実した。」 ②曲や音楽を向した表現でいて、表現では、まり、表現では、表現でいて、表現でいて、表現では、まり、といて、表現では、まり、といて、表現では、まり、といて、表現では、まり、といて、表現では、まり、といて、表現では、まり、といて、表現では、まり、といて、表現では、まり、といて、表現では、まり、といて、表現では、まり、といて、表現では、まり、といて、表現では、まり、といて、表現では、まり、といて、表現では、まり、といて、表現では、まり、といて、表現では、まり、といて、表現では、まり、まり、表現では、まり、まり、まり、表現では、まり、まり、まり、表現では、まり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、	0	0	0	12
	A ミー (本学・学・学・学・学・学・学・学・学・学・学・学・学・学・学・学・学・学・学・			0	0	【知識及び技能】 ①ミュージックベルの構造や奏法について理解している。 ②創意工夫を生かした器楽表現をするために必要が、曲にみされている。 「会社の情報を表現するために必要な、無になされるとができている。 「と考力、判断力、表現力等】 ②音色の働きを感受しながら対したこととの関りたこととの関りたことがの覚したとどのようとととの関りについるをもち、表別できている。 「学びに向かう力、人間性等】 ②ミューをもち、主体的協働的に取り組もうとに関心をもち、主体的協働的に取り組ももしている。 ②アンサケンブルの演奏をすることに関心をもち、主体的・協働的に器楽の活動に取り組もち、としている。	0	0	0	8
3 学期	B 合唱 【知識及び技能】 ①曲想を歌詞の内容や表現上の効果の関射について、及特像について、及特像について、及特像についます。 の関りにる歌唱表現の性を発力に、といるためでは、 を生かした、電子のでは、 を生かした。 の使い方をの技能を身にである。 であるため使い方をの技能を身にである。 は、これである。 は、一般である。 は、一般である。 は、一般である。 は、一般である。 は、一般である。 は、一般である。 は、一般である。 は、一般である。 は、一般である。 は、一般である。 は、一般では、 は、一般では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	パート練習	0			【知識・技能】 ①曲地や歌河の内容や表現上の効果の関りについて、及び様々な表現形態による歌唱表現の特徴をな表現形態による歌唱表現をするためにいるで、一般ででは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	0	0	0	10

高等学校 令和7年度(2学年用) 教科 芸術 科目 美術Ⅱ

 教 科: 芸術
 科 目: 美術Ⅱ

 対象学年組:第 2 学年 1 組~ 7 組

 単位数: 2 単位

教科担当者: (1・2組:武藤) (3・4組:武藤) (5組:武藤) (6・7組:武藤) (組:) (組:

使用教科書: (高校生の美術2 日本文教出版

教科 芸術 の目標:

【知識及び技能】美術の基礎的な知識・技術を学び、作品の制作に生かすとともに、芸術文化への理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】課題についての考えを深めてテーマや素材を選び、美的且つ効果的に表現できる。

【学びに向かう力、人間性等】芸術を通して他者と自己の違いや互いの長所を認め合うとともに、粘り強く課題に取り組むことができる。

科目 美術Ⅱ の目標:

【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等	₽]
1年次に学んだデッサンの見方と技術を基礎として、細密デッサンの技法を学ぶ。糸鋸を自在かつ安全に使用する。美術作品の調査方法とレポートの書き方、プレゼンテーション能力の向上を目指す。	

				表現	1						配
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	絵 ・ 彫	デ	映	鑑賞	評価規準	知	思	態	当時数
	A 単元 顔を描く~スーパーリアリズムに挑戦~ 【知識及び技能】 著作権と肖像権について十分に理解した上で、題材(写真)をデッサンを応用し、リアルな満写ができる。【思考力、判断力、表現力等】細密描写、立体表現さらには写真の特徴を活かした題材(写真)を用意できる。 【学びに向かう力、人間性等】授業に主体的に参加し、粘り強く課題に取り組む。	・肖像権と著作権について・転写技法・目、鼻、口などの形の特徴と描き方・ハッチング	0				・素材(写真)が課題の目的に合致しているか。 ・1年時に学んだデッサンの技術と見方を応用できているか。 ・形体表現 ・明暗表現 ・細密描写 ・授業に主体的に参加し、集中して制作しているか。	0	0	0	26
学	A 単元 木のパズル 【知識及び技能】 糸鋸の特徴と使用方法を理解し、安全かつ自在に使用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 パズルの用途を踏まえ、魅力的かつ オリジナリティーのあるデザインを 考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に主体的に参加し、粘り強く課 題に取り組む。	・パズル制作の条件 ・パズルのアイデアスケッチ ・糸鋸の安全かつ効果的な使い方 ・やすりがけ ・彩色		0			・デザイン (オリジナリティーと表現力) ・糸錦技術 ・フィニッシュ ・授業に主体的に参加し、集中して制作して いるか。	0	0	0	28
3 学期	A 単元 西洋美術史 【知識及び技能】 作品についての調査方法を知り、必要な事項を調査することができる。 作品について学んだことを、第三さ に分かりやすく伝えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の調査を通じて得た自分の考えを美的かつ分かりやすくレポートにまとめることができる。 【学に主体的に参加し、粘り強く課題に取り組む。	・生徒により発表された作品につ				0	・発表において、他の生徒に対して、大きな声で分かりやすく伝えることが出来たか。 ・発表において、作品を知るうえで、他の生徒に伝えるべきことを的確に伝えられたか。 ・レボートでは、作品の調査を通じて得た自分の考えを根拠を上げて述べているか。	0	0	0	16
											合 計 70

高等学校 令和6 7 科目 書道Ⅱ

単位数: 2 単位

 教 科: 書道
 科 目: 書道Ⅱ

 対象学年組:第 1 学年 1 組~ 7 組

教科担当者: (1組:青山 (2組:青山 (3組:青山) (4組:青山 (6組:青山 (7組:青山

使用教科書: (光村図書 書Ⅱ

教科 書道 の目標:

【知識及び技能】書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】作品や書の文化の意味や価値を考え、書の美を深く捉えたりすることが出来るようにすること。 【学びに向かう力、人間性等】書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うこと。

科目 書道Ⅱ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて 幅広く理解するとともに理解を深めているかいる		書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う
かどうか。	いるかどうか。	Ξ ξ.

	I		表	現				1			357
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	漢仮		仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
	A 単元 【知識及び技能】 篆書の表現の方法や形式、多様性な どについて幅広く理解するとともに 書写能力の向上を図ること。 【思考力、制力力、天切意等、 篆書の作品や書の文化の意味や価値 を考え、書の美を捉えたりすること が出来るようにすること。 【学びに向かう力、人間性等】 篆書の伝統と文化に親しみ、創造して いく態度を養うこと。	豪書について		0		0	【知識及び技能】 篆書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図ているか。 【思考力、判断力、表現力等】 篆書の作品や書の文化の意味や価値を考え、書の美を捉えたりすることが出来きたか。 【学びに向かう力、人間性等】 篆書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養えたか。	0	0	0	5
期		隷書について		0		0	【知識及び技能】 隷書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図ているか。 【思考力、判断力、表現力等】 隷書の作品や書の文化の意味や価値を考え、書の美を捉えたりすることが出来きたか。 【学びに向かう力、人間性等】 隷書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養えたか。	0	0	0	5
2 学期		仮名について			0	0	【知識及び技能】 仮名の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図ているか。 【思考力、判断力、表現力等】 仮名の作品や書の文化の意味や価値を考え、書の美を捉えたりすることが出来きたか。 【学びに向かう力、人間性等】 仮名の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養えたか。	0	0	0	10
3 学期	D 単元 【知識及び技能】 創作の表現の方法や形式、多様性な どについて幅広く理解するとともに 書写能力の向上を図ること等 【思考力、判断力、表化の意味や価値 を考え、書の美を捉えたり等すること。 【学びに向かう力、人観しみ、書を通 創作の心豊かな生活や社会を創造して いく態度を養うこと。	創作について	0	0	0	0	【知識及び技能】 創作の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図ているか。 【思考力、判断力、表現力等】 創作の作品や書の文化の意味や価値を考え、書の美を捉えたりすることが出来きたか。 【学びに向かう力、人間性等】 創作の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養えたか。	0	0	0	5 合計 25

外国語(英語) 科目 英語コミュニケーションエ 単位数・ / ※**

高等学校 令和7年度 教科 教 科: 外国語(英語) 科 目: 英語コミュニケーションⅢ 対象学年組:第 2 学年 1 組~ 7 組 単位数: 4 単位

教科担当者: (1, 2, 3, 7組: 及川) (4, 5, 6組: 岸部) (L4, 5組: 及川)

(L1, 2, 7組:岸部) (L3, 6組:米澤) L1, 2, 3, 4, 5, 6, 7組:齋藤

使用教科書: (Power On English Communication II

教科 外国語(英語)

の目標:

【思考力、判断力、表現力等】場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできる。

【学びに向かう力、人間性等】外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できる。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話 9 の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目 2 的に応じて接えたりすることができる。	注意して複数の文で話して伝えることができる。	日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話 の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目 的に応じて捉え、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意し て複数の文で話して伝えようとしている。

				領	域							27
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	聞	読	話「や」	話〔発〕	書	評価規準	知	思	態	配当 時数
	Iesson 1 Play ne. I'n Yours [知識・技能] 動動詞 + 動詞の原形、受けの が、き状に動動詞と外 + でを用いた文の 形・意味・用比を無解する。 日本や海外のストリートビアノとスト・ 社会とのかかかりについて、建確で設置した。 たたかについて、多様な語句や文を目れたたかについて、多様な語句や文を記したりまいた。 たたかについて、多様な語句や文を記したりまいたりして伝える技能を身に付けるのストリートビアノとストリートビアノがどのようなどを対したが、 に思考・判断・表現! 日社会と切けがよりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりま	- 指導事項 [題材内容] ストリートピアノについての テレビレボート 「言語材料] 助動詞+動詞の原形, 受け 象, S+V [be 動詞以外] +C 「言語の働き」説明する、報告する, 紹介 する, 発表する。 表材 ・ 数材 Power On English Communication II ・ 一人 1 台端末の活用 等	0	0	0	0	0	[知識・技能] 助動詞+動詞の原形、受けタ、S+1 [be 動詞以外] + にを用いた文の形。意味・用法と解析してない。意味・用法との目本や海外でのストリートピアノと人々・社会といった。また、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたたかについて、また、ストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、大きた、ストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、大きた、ストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、また、ストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、また、ストリートピアノがとのような経緯で設置されたかについて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えている。 [主体的] 日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、また、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えている。	0	0	0	10
	Lesson 2 Ethical Fashion [知識・技能】S+Y+O+O+C [形容詞] , S+V [便稅] +O+C [則形不定詞] , S+V [便稅] +O+C [則死不定詞] , S+V [便稅] +O+C [則死不定詞] , S+V [规稅] +O+C [現稅方限 , 原形不定詞] を用いた文形・意味・用きたある問た・エシカルファッションブランドのエシカルで、持線や自分の考さなどを記して、情報や自分の表などを記して、情報や自分の表えなどを表しまいて、情報や自分の表えなどを記したりまいて、持いのエジルでので、大いのエジルでからで、大り上で伝える。 アステン・ジーンデッションブランドのエジカルので表れといる。 日本の呼後にあるに、日本の呼後にあるに、日本の呼後にあるに、日本の呼ばれる話動について、情報や自分の考えなどを話したり書いて、情報や自分の好きなどを話したり書いたりして伝える。 また、自分の好きなどを話したり書いたりして、また、自分の好きなアッションプランドのエジカルな活動について、情とになる。 ストロース・アッションコンドの大りなどを話したり書いたりして伝えまた。 また、自分の好きなどを話したり書いたりして伝えまた。 また、自分の考えなどを話したり書いたりして伝えまりまります。	 指導事項 (題材内容) 現代のファッション業界についてのニュース記事。ファストファッションの問題点やエシカルファッションについて考える。 (言語材料] S+V+0+C [形容詞],S+V [矩役]+0+C [現在分詞。原形不定詞],S+V [知党]+0+C [現在分詞。原形不定詞] (責語の働き] 説明する,理由を述べる,紹介する,発表する、終析を必wer On English Communication II WORKBOOK III 一人1台端末の活用 等 	0	0	0	0	0	「知識・技能」S+V+0+C [形容詞], S+V [使 役] +0+C [原形不定詞], S+V [使 役] +0+C [原形不定詞], S+V [頻度] +0+C [現在分詞。原形不定詞] を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて、また。自分の好きなフを踏むった。おいまでは、日本のでは、日本		0		10
1									0	0	0	1
学期	Lesson 3 0ne for AII, All for 0ne (知識・技能、現在光子形、過去完了形。 (知識・技能、現在光子形、過去完了形。 使定法過去のほ 節を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ラグビー選手のマイケル・リー・発手について、また、自分の好きなスポーツ選手について、おりして伝える技能を身だがして、りして伝える技能を身だがして、カーボールのような大きを表したのいて、りして伝える技能を身がグビーまた。「一大野・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・	・指導事項 [題材内容] ラグビー選手のリーチ・マイケル選手への インタビュー [言語が材] 現在完了形、過去完了形、仮定法過去のif 節 [言語の働き] 関問する、説明する、紹介する、感謝する ・教材 Power On English Communication II WORRBOOK II ・一人 1 台端末の活用 等	0	0	0	0	0	「知識・技能」現在完了形、過去完工形、仮定法温 表の1f 節を用いた文の形・意味・用法を理解して りる。 ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、ま た。自分の好きなスポーツ選手や有名人について、 を稼む節句や文を用いて、情報や自分の多えなどを 話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 「思考・判断・表現」ラグビー選手のマイケル・ リーチ選手について、また、自分好きなスポーツ 選手や有名人について、情報や自分の考えなどを記 したり書いたりして伝えている。 「主体的」ラグビー選手のマイケル・リーチ選手に ついて、また、自分の好きなスポーツ選手や有名人 について、また、自分の好きなスポーツ選手や有名人 について、また、自分の好きなスポーツ選手や有名人 について、また、自分の好きなスポーツ選手や有名人 について、また、自分の好きなスポーツ選手やあり して伝えようとしている。	0	0	0	10
	Lesson 4 Vending Machines [知識・技能] 関係係名詞(主格),関係 化名詞の非側照法、関係係名詞(目的 格)を用いた文の形。意味・用法を理解す る。 日本と海外の自動販売機について、また。 海外のユークは動販売機について、また。 海外のユークは動販売機について、また。 を接き高句や文を用いて、は、では、なくなどを話したり書いたりして伝える技能を タに付ける。 1 里考・判断・表現」日本と海外の自動販売機について、また。 海外の土の少な、は、情報や自分の考えなどを話したり書いたり、は、情報や自分の考えなど を話したり書いたりして伝え、といて、は、情報や自分の考えなどを話したりまいたりして伝えようとする。 で、また、情報や自分の考えなどを話したり 書いたりして伝えようとする。	日本の自動販売機、海外の自動販売機につ	0	0	0	0		「知識・技能」関係代名詞(主格)、関係代名詞の非制限用法、関係代名詞(目的格)を用いた文の日本と海外の自動販売機について、多球法部やマを用いて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 [思考・判断・表現]日本と海外の自動販売機について、また、海外のユークな自動販売機について、大情報や自分の考えなどを話したり書いたりして、ほかの考えなどを話したり書いたりして、「情報や自分の考えなどを話したり書いたりして、「特報や自分の考えなどを話したり書いたりしていて、「情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えている。		0	0	10
	定期考査								0	0	0	1
_	t			-	_			•	_	_	_	=

	性について、また、プレイルノイエの利点 と活用方法について、多様な語句や文を記句を表して、 情報や自分の考えなどを論理性に注 をして話したり書いたりして伝える技能を 身に付ける。 「思慈幸や利点と可能性について、また、	・指導事項 [題材内容] ユニバーサルデザインのフォント、ブレイ ルノイエとその開発者の高橋湾介氏へのイ ンタビューについての雑誌記事 [言語材料] 助動詞+受け身、S+V+C [分詞], S+V +O [注節], It seems [appears] + that 節 [言語の働き] 質問する、説明する、例示する、提案する、発表する、 ・教材 Power On English Communication II WORKBOOK II ・一人 1 台端末の活用 等	0	0	0	0	0	【知識・技能】助動詞+受け身、S+V+C [分詞]、S+V+O [if節]、It seems [appears] + that節を用いた文の形・意味・用法を理解している。 プレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、また、プレイルノイエの制発を用いて、情報や自分の考えなとを論理性に注意して話したり書からりして伝える[足略・申明・表現]プレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、また、プレイルノイエの開発の経過に対している。 「思考・判所・表現」プレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、また、プレイルノイエの開発の経緯で利点とでは、また。「主体的」プレイルノイエの開発の経緯や利点と活力といって、また、ブレイルノイエの制度と活力が活が、「情報や自分の考えなどをあった。」では、アレイルノイエの制度と活力が活力について、また、ブレイルノイエの制度と活力が活力について、また、ブレイルノイエの制度と活力が活力について、情報や自分の考えなどをある。		0	0	10
2 学期	的語はとto 不定詞、助動詞+have+過去 分詞を用いた文の形。意味・用法を理解する。 朝代幣とキャッシュレス社会の長所、短所について、また、キャッシュレス社会の長所、短所について、移様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。 「思考・判断、表現」新術等とキャッシュレス社会について、また、キャッシュレス社会について、また、キャッシュレス社会の長所・短所について、情報や自分の	・指導事項 [題材内容] 2024年に新しく発行される紙幣にまつわる 話やキャッシュレス化についてのオンライ ご記事 [言語材料] It+is [was] + said+that 節,形式目的 語iとthat 節,形式目的語iとto 不定 調,助動訓+hav=過去分詞 [言語の働き] 説明する,意見を述べる,養成する,反対 する,理由を述べる,発表する,質問する ・教材 Fower On English Communication II FOREBOOK II ・一人 1 台端末の活用 等	0	0	0	0	0	[知識・技能] It+is [was] +said+that 節、形式目的語itとto 木定詞, 形式目的語itとto 木定詞, 形式目的語itとto 不定詞, 助動詞十hav+過去分詞を用いた文の形、意味・用法を理解している。 新統幣とキャッシュレス社会について、多様な言的令文を用して、情報や自分の考えなど整定を指して計意して話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 [里考・判断・表現] 新紙幣とキャッシュレス社会(下部) 「表は、中で記したり書いたりもでなえている。 [主体の] 新紙幣とキャッシュレス社会の長所・知所について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり 新紙幣とキャッシュレス社会の長所・知所について、中観や自分の考えなどを論理性に注意して話したりまた、キャッシュレス社会の長所、知所について、また、キャッシュレス社会の長所、知所について、また、キャッシュレス社会の長所、知所について、また、キャッシュレス社会の長所、知所について、また、キャッシュレス社会の長所、知所について、また、キャッシュレス社会の長所、知所について、また、キャッシュレス社会の長所、知所について、また、キャッシュレス社会の長所、知所について、また、キャッシュレス社会の長所、知所といいて、記述している。			0	
	上州与正 Lesson 7 Some Secrets about Colors	・指導事項						[知識・技能] 関係代名詞(所有格), 同格を表す	0	0	0	1
	「知識・技能」関係化名詞(所有格)。同 経を表す技能調けれた。 が開業の になった。 にな。 になった。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな	・相等字状 「題材内容」 色が私たちに与える影響や色のもつ心理的 効果についての論説文 「言語材料] 関係代名詞(所有格)、同格を表す接続詞 that、前置詞+関係代名詞、関係副詞 shereの字制限用法 「言語の働き」 説明する、提案する、理由を述べる、意見 を述べる、質問する ・数材 FOWEY On English Communication II WOKKBOOK II ・一人 1 台端末の活用 等	0	0	0	0	0	「大麻臓・技能」例除いた時間(均等物)、同様を表す。 機能調性は、前性調性を表す。 の非制度用法を用いた文の形・意味・用法を理解している。 色の心理的効果について、また、色の心理的効果とついて、また、 を感じた部屋の壁の色について、多様と語句や文を 届いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 「思考・判断・表現」色の心理的効果について、また、色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりもいたりして伝えていて、、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したりまいたりである。 (主体的) 色の心理的効果について、また、色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について、また、色の に関いるというにある。 (主体的) 色の心理的効果について、また、色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について、また、色の は即的効果を考慮した部屋の壁の色について、また、色の は即的効果を考慮した部屋の壁の色について、また、色の は、対象にないて、といて、を、色の は、ないて、色の は、ないて、を、色の は、ないて、といて、といて、を、色の は、ないて、といて、といて、といて、といて、といて、を、色の は、ないて、といて、といて、といて、といて、といて、といて、といて、といて、といて、と		0	0	10
	納宜パウダーという製品の利点などについて、多様な話句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。 足の表した。 東奥則 納豆パウダーの開発の経緯と所水を伸化するしくみや、爰展途上回・の襲撃について、また。納豆パウダーという製品を影響について、また。納豆パウダーという製品	・指導事項 「題材内容」 小田兼利博士が開発した納豆バウダーの誕 生秘話と世界へ広がる様子についての論説 文 「言語材料] 強調構文、強調の助動詞do、直前の文を先 行詞とする関係代名詞which、to+have+ 過去分詞 場所代名詞which、to+have+ 過去分詞 場所する、紹介する、描写する、注意をひ く、動める ・数材 Power On English Communication II WORKBOOK III ・一人 1 台端末の活用 等	0	0	0	0	0	「知識・技能」強調構文、強調の助動詞do、直前の文を先行詞とする関係代名詞を前には、to+have+当者分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや、発展途目への影響について、また、納豆パウダーという製品の利点などについて、多様な話句で支を用いて、情報や自分の考えなどを強速性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身に付けてして、また、納豆パウダーの開発の経緯と方が水を浄化するしくみや、発展途上国への影響などにいて、また、納豆パウダーの開発の経緯と方が、を浄化するしくみや、発展企品国への影響などにいて、また、納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや、発展途上国へ影響について、ま記したり書いてりして伝えている。 [主体的] 納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや、発展途上国の影響について、また、前豆パウダーという製品の利点などについて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したりまして伝えようとしている。		0	0	10
	定期考査								0	0	0	1

	Lesson 9 Flying after Her Dreams [知識、技能] 識却を表す副詞節。no matter how (地市で、地面で、地面で、地面で、地面で、地面で、地面で、地面で、地面で、地面で、地面	・指導事項 [題材内容] アメリカで惡人女性初のパイロットとなっ たべシー・コールマンの伝記 [言語材料] 「無中を、軟中の」(※要修正反映),仮定 法過去完了,分詞構文(過去分詞) [言語の働き] 質問する,説明する,理由を述べる ・教材 Power On English Communication II WORKBOOK II ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0	[知識・技能] 譲歩を表す副詞節, no matter how [where, when] (後要修正反映), 仮定法過去完了, 分詞構文 (過去分詞) を用いた文の形・意味・用法を理解している。 用法を理解している。 果人女性別のパイロットであるペシー・コールマンの経歴や人物像や夢について、また、1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の破労について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能をするペシー・コールマンの経歴や人物像や夢について、また、1900年頃のアメリカにおける女性の専門性に注意して話したり書いたりして伝えている。 [主体的] 黒人女性別のパイロットであるペシー・コールマンの経歴や人物像や夢について、病報の自分考えなどる。 「主体的」黒人女性別のパイロットであるペシー・コールマンの経歴や人物像や夢について、また、1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の記覚にいて、アメリカにおける女性の専門職の記覚に対している。		0	0	10
3 学期	Lesson 10 To Work or Not to Work?: htmans and Robots [知識・ Robots [知識・ Robots] [和述・ Robots] [和述	・指導事項 「題材内容」 日本が誇るロボットやロボットの労働など についての論説文 (言語材料) 過去完了進行形、be+to 不定詞、未来完 万彩、insist など+that+s+V [動詞の 原形] 「言語の働き] 説明する、発表する、提集する、予想する、意見を述べる、理由を述べる ・教材 Power On English Communication II WORKBOOK III ・一人 1 台端末の活用 等	0	0	0	0	0	【知識・技能】過去完了進行形、be+to 不定詞, 未来完了形,insist など+that+5+V 動詞の原 形] を用いた文の形・意味・用法を理解している。 各種のロボットやロボットの労働内容の変化につい 形状や機能などについて、多様な語のや文を用い にり書いたりして伝える技能を身に付けている。 日思考・判断・表現」各種のロボットやロボットの 労働内容の変化について、また。自分が考案した主 に関立つロボットの形状や機能などについて、また。自分が考案した生 報や自分の考えなとを推進性に注意して話したり書 はに役立つロボットの形状や機能などについて、情報や自分の考えなどを 無理性に注意して話したり書 に主体的】 に基体的】を構成のエボットの労働内容の 変化について、また。自分が考案した生活を ので表えている。 に本ので、また、自分が考案した生活を で変化について、また。自分が考案した生活を などを論理性に注意していました。 を変化について、また。自分が考案した生活を自分の 考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして 伝えようとしている。		0	0	10
	定期考査								0	0	0	1

高等学校 令和7年度 教科 数 科: 外国語(英語) 科目: 論理・表現I 対象学年組:第 2 学年 1 組 7 7 組 教科担当者: (1,2組:斎藤) (4,5組:清水) (6組:及川) 使用教科書: (Vision Quest English Logic and Expression I Standard **外国語(英語) 科目 論理・表現 I** ^{単位数: 2} 単位

(3,7組:岸部)

使用教科書: (VIsion Quest English Logic and Expression 1 olanward 外国語 (英語) の目標:

【知 譲 及 び 技 能 】 外国語の技能(話すこと、書くこと) について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 場面: 目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的際に理解したり運切に伝える

【学びに向かう力、人間性等】 外国語で関いたり接んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できる。 場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできる。

科目 論理・表現 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の技能(話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーション において活用できる知識・技能を身に付ける。		他者を尊重し、関き手・踏み手・踏し手・書き手に配慮しながら、外国語で 関いたり読んだり上たことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書 いたりして表現できる。

### ### ### ### ### ### ### ### ### ##					領域							55	
日本語 18 18 18 18 18 18 18 1		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	聞	読	- *	発	書	評価規準	知	思	態	当時
「他間、文型・無抑の無失の用。 現る、大型の変化		「知識・技能」様々な展開文や命か次、感嘆文の意味や用法、相手の参照にあるうま理な、重文・観文の構造で意味や用法、理した機会を開始する。 単文・重文・観文の構造で意味や用法、理由を述べる 変数を登録する。ついて、情報できる、気勢ちたどを 理由・共体例とともに話して伝え合う技能を身に付け のに、原生活を引起について、自然ので目眩について、 に思考・判断・表現」クラスメートに日々の習慣や出 来事を説明するからに、目常生活や目眩について、 情報や考え、気勢ちなどを増出や具体例とともに話して には、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	話題 紹介: 初外面で行われる自然な会話や学校の習 使を紹介する契化を学系。 文法 文の種類・様々な展開文や命令文、修成文を選文 の構成を開発し、まとまりのある文で表現する。 機能 応答する。また、多様な表現を用い理由を述べる。 表現 請すこと:自分の生活を表現を用い理由を述べる。 表現 請すこと:自分の生活を表現を用い理由を述べる。 表現 請すこと:自分の生まのはのは、 ・ 数材 の中の生まの目は Logic and Expression I Standard アークブック 深めて解ける1 英文法 INPUT ・ 人人16様なの活用 等	0	0	0	0	0	手の発統に広告する表現と理解している。 単文・策文・権奴権金を意味や用法、理由を述べる表現を理解 している。 日常生帝や目標について、情報や考え、気持ちなどを理由や見解 例とちに話して伝え合う技能を多に付けている。 「思考・判断・実現」ラクヌメートに日本の習慣や出来を設明 するために、日常生活や印鑑について、情報や考え、気持ちなど を理由や具体例が、ラフメートに日本の習慣や出来を説明する大き、 に、日常生活や用鑑について、情報や考え、気持ちなどを理由や に、日常生活や用鑑について、情報や考え、気持ちなどを理由や		0	0	5
Session 3、1' a planning a day trip this weeked [お職・技能] 現在のことや過去のことを書す時初の意味や用法の理解と表示。 指揮事項 振響事項 北上たことについて、情報や考え、気持ちなどを理由や非確ともに話して伝えら、また、計画 大型		「知識・技能」文型・動詞の意味や用法、貴近・反対 する現を理解する味や用法、関き直す表現を理解する 複雑な文型や動詞の意味や用法、関き直す表現を理解する。 学校と話について、情報や考え、気持ちなどを理由や 長地発しとはに話して伝え合う技能を得な付ける。 に思考・判断・表現、カラスメートと情報を交換する たみどを理由を検索してもに話して伝え合う。 に主体的 クラスメートと情報を交換するために、自 のの学校生活していて、情報や女人、送替れなどを明	話題 学校生話、学校の文化係に参加する留学生との 会話を通して、学校生活で行われる生徒同士のやり取りの表現と学ぶ。 文法 文型と動詞、5つの文型とてIhere the動詞・主語 >の構文を理解し、文を組み立てる。また、注意すべ 自動詞・企動詞を使い受ける。 様能、貴成・反対する/阿宮高す: 貴成・反対の意思 を示したり、間を取れなかったことを理解できなかっ たことを随き直したりする。 表現、第寸と、文化祭に行く・予定について話し合う。 表 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	0	0	0	0	0	理解している。 精練な文型や動詞の意味や用法、聞き直す表現を理解している。 学校生店について、情報や考え、気持ちなどを理由や具体例と、 に、話して伝えるう技能を含まれている。 日思等・判断・実現)ラスメートと情報を交換するために、自 ラントとは、 に、 といるでは、 に、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、		0	0	5
Lesson 3 1	学期	定期考查								0	0	0	1
振越、	,93	窓味や用法、機助や助ます表現を理解する。 服在のことや透出のとを表す時間の意味や用法を理解する。 解する。 場内の企業を参加する経験を表現してなる。 に思かります。 に思かります。 に思かります。 は、他のでは、は、他のでは、は、他のでは、は、他のでは、は、他のでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないがもないでは、は、からないでは、は、他のでは、は、他のでは、は、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、	諸徳 旅行・観光・旅行の計画や予定を考れたり伝え たりする表現を学ぶ。 様式というな表現を学ぶ。 状にとを溜切た時制を用いて伝えたいことを溜切たり、別ましたり、方面とかっていると 機能、微助する・助ます。汁計画する・ラをする:会話 の相手を微動したり、励ましたりである。また、計画したり、予定していることを伝え合う。 表現 前すこと、過去に行った旅行の経験について話 ・大 ***********************************	0	0	0	0	0	現在のことや過去のことを表す時期の意味で用法を理解してい。 自分の習慣や週末にしたことについて、情報や考え、気持ちなど を担めて罪様ともに話して伝え合う技能を身に付けている。 「思考・判断・来見」ラフメメートと現在の習慣や状況、適の は一般な事の情報を考入、気持ちなどを理由で評価ともに話して出 に対している。 と言いないました。 は一般な可ない。 は一般ないました。 は一般ない。 は一般ないました。 は一般ないない。 は一般ないないない。 は一般ないないないない。 は一般ないない。 は一般ないないない。 は一般ないないない。 は一般ないない。 は一般ないない。 は一般ないない。 は一般ないないない。 は一般ないないない。 は一般ないない。 は一般ないない。 は一般ないないない。 は一般ないないない。 は一般ないない。 は一般ないないない。 は一般ないないないないないない。 は一般ないないない。 は一ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	0	0	0	5
定期考查		「知識・技能」現在完下形や現在完了進行形の意味や 現在完了形や現在完了進行かの意味や用法を理解する 現在完了形や現在完了進行かの意味や用法を理解する を新学年の期所は多い意味を認めたじていて、情報 で考え、気料らなどを理由や評細とともに話して伝え るう技能を単していることを考めるために、英語 学習の期間や他外の複核経験とどいついて、情報や考え、気料らなどを世中で評細とともに話して伝える と、気料らなどとを単れていることを与れるために、英語 学習の期間や他外の複核経験とどいついて、情報や考え、気料らなどと重な単のを詳細とともに話して伝える と、線起していることを考れるために、英語学等の関係を構成したこととを考れるために、英語学等のとない。 は、線形であることを考れるために、英語学等の関係が発展と表しました。	話題 趣味・関心: 趣味や関心のあることについて、 その経験をもれたり、伝えたりする表現を学え。 文法 完丁形: 現在・過去・米末の定丁形の概念を理 財し、それぞれの用社を区別する。また、まに使える 語句を使って、適切に文を作ったり、表現したりす る。 機能 経験を尋ねる / 初めての経験を述べる: 今まで 場合していて、様々な表現を用いて 得ねたり、伝えたりする。 女男 高すこと・スポーツや音楽の経験について伝え 合う。 パインの、「他の、「他の、「他の、「他の、「他の、「他の、「他の、「他の、」 「Vision Quest English Logic and Expression I Standard アークブック 深めて解ける! 英文法 INPUT ・人人16様本の活用 等	0	0	0	0	0	を尋ねる表現を理解している。 現在在下部や現在庁 海市の高速中や用法を理解している。 東海宇等の期間で海外の遊戯経験などについて、情報や考え、 等わななを理由で海洋線ともに高して伝え合う技能を身に付けている。 ・ 制能・支援)バートナーに経験したことや第71人たこと、 ・ 制能していることを考ねるために、実海宇雪の期間で海外の 本名に高して伝えて、 ・ 大きない。 ・ 大きない。	0	0	0	5
		定期考查								0	0	0	1

	Lesson 5 単ねt do you want to do after high school? [知識・技能] 助動詞(能力・許可・推量・義務・禁止など)の意味や用法。許可を求めたり、候籍する表現の意味や用法。許可・推量・義務・禁止など)の意味を用法。計画・表表・禁止など)の意味を用法。可・推量・義務・禁止など)の意味・自分や相手の義務や能力について、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合う技能を身に付ける。 [思考・判断・表現】クラスリーゲーに必要な資質を自分できることを説明するために、自分や相手の教務や能力について、情報や考え、気持ちなどを埋由や詳細とともにある。とを説明するために、自分性手の教務や能力について、情報や考え、気持ちなどを埋由や評価ととに記して伝え合う。	 教材 	0	0	0	0	0	「知職・技能」動動詞(能力・許可・権量・義務・禁止など)の 意味中用法。許可を求めたり、仮朝する表現を理解している。 助動詞(能力・許可・権権・義務・禁止など)の歴史中用法を理 解している。 自今や相手の義務や能力について、情報や考え、気持ちなどを理 由や容辨組とともに話して伝え合う技能をおく付けている。 「思考・制断・変担」クタスリーグーに必要な資料を含かさき を必要別するため、自分や相手の機が能力について、 報告などを理由や溶細とともに話して伝え合ってい 気に対している。 「主体的」クラスリーダーに必要な資質で自分ができることを説 別するために、自分や相手の機合化力について、情報や考え、 気持ちなどを理由や辞細とともに話して伝え合おうとしている。		0	0	5
2 学期	Lesson 6 Did you hear about the new shop? [知識、技能】基本的な支動能や様本な変動能の意味や用法。展記、整備を大き支援性解する。 基本的な支動能や様本な支動能の意味や用法を理解する。 基本的な支動能や様本な支動能の意味や用法を理解するなどを理由や詳細とともに話して伝え合う技能を身に付ける。 「思考・判断・表現」パートナーに身の回りで起こる 有相を許した。コンピニで売られているものや外国人に遺を勢おられた経験などについて、情報や考え、大きない。コンピニで売られているものや外国人に遺を勢おられた経験などについて、情報や今ま、大きない。コンピニで売られているものを国人に遺を得ねられた経験などについて、情報や考え、人類持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合おうとする。	・教材 Vision Quest English Logic and Expression I Standard ワークブック 添めて解ける! 英文法 INPUT ・一人 1台機末の活用 等	0	0	0	0	0	[知識・技能] 基本的な受動態や様々な受動態の意味や用法、原 例・影響を対す実現を実験している。 原列・影響を対すまままままままままままままままままままままままままままままままままままま		0	0	5
	定期考查								0	0		
	Lesson 7 1'm happy to have you with us. [知識、技能] 不定詞(名詞的用法・形容詞的用法・形容詞的用法) る。 高歌中月法。感謝する表現生質解する。 就性生がすべき大切なことについて、情報や考え、気 持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合う技能を 身に付ける。 足男多、世界、表別、バートーと高枚生がすべた。 に現今、世界、大型、バートーと高枚生がすべる。 に現今、世界、大型、大学、大型、大学、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、	報を伝える。 機能・感謝する/謝罪する/弁解する・感謝・謝罪・ 弁解する際に頻繁に使用される表現を学び、会話の相 手に感情を適切に伝える。 表現 話すこと・受け取った贈り物について詳細に伝 え合う。 ・数材 Vision Quest English Logic and Expression I	0	0	0	0		[知職・技能] 不定詞(名詞的用法・形容詞的用法・副詞的用 法)の意味や用法・感謝する表現。理解している。 高校生かずへをり切ることについて、情報や考え、気持ちなどを 理由で容輔とともに話して伝え合う技能と参ば付けている。 「思考・判断・実現」ペートナーを高校生かずべき、切なことに ついて議論するために、何をすべきかについて、情報や考え、気 持ちなどを理して経過して伝え合っていて、情報や考え、 「主体的」パートナーと高校生がべき、切なことについて議論 であるかに、何をすべきかについて、情報や考え、及持ちなどを 理由で評価とともに話して伝えるかうとしている。		0	0	5
	Lesson 8、 判断は sport め you like playing? 「知識・技能」的名詞 動名詞 一般 300 意味力を出来。否定 形・受動態)の意味や様々な用法。 第 9・申し出る表 學を生態する。 学校生活について、情報や考え、気持ちなどを想由や詳細ととして伝え合う技能を含まけれる。 「思考・判断・表現」学校生活についてバートナーと話すために、クラスの生徒が自由時間にする方をとして込るとや不誠に思っていることなどについて、情報や考え、気持ちなどを理中を詳細とともに話して伝え合う。 「主体的」学校生活についてバートナーと話すために、クラスの生徒が自由時間にする好きなことや不動に、ラマスの生徒が自由時間にする好きなことや失動に、クラスの生徒が自由時間にする好きなことや失動などを理由や詳細とともに話して伝え合おうとする。	・指導車項 話題 スポーツ・競雑:所属するスポーツチームについて証す会話からチームに扱ったり、見学を勧めたり する現象を実施。 文法 動名部:動名部の様々が用法を学び、動名詞句 機能・誘う・申し出名ン推動する・相手を誇ったり、 申し出たりする変更や手にあったり、 申し出たりする変更や目にを断するを表現。 現を学ぶ。 表現、語すこと:スポーツをすることの利点について 話して伝える。 ・数材 のest English Logic and Expression I Stomadus デンタインター 深めて解ける! 英文法 LAD TAN	0	0	0	0	0	知識、共能、軟名調(除名詞の意味上の主語/名花形・受動 の意味や様々の用法、前々、申出古表現の報報している。 学校本版について、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細ととも に該して気えうな性をを化けている。 「思考・判断・表現」学校生版についてバーナーと話すため に、ララスの生物を自由時間にてあらずらなことや不満に思っていることなどについて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とと に話して伝えらっている。 (主体的)学校生活についてバーナーと話すために、クラスの を決分自由時間にする時をは、クラスの を決り自由時間にする時をといてバーナーと話すために、クラスの を決り自由時間にする時をと、クラスの 大きが自由時間にする時をと、とや不満に思っていることなどに ついて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝 え合おうとしている。		0	0	5
	定期考查							F1-30- 44-45 0-22 (4-22-4-44-1-4-0-22	0	0	0	1
	Lesson 9 Digital media has come a long way. [D顕版 18版] 分別(名詞を修飾する分詞・1(10)+4 在分詞(過去分詞) の意味や用法、指字する表現を増 料するためで表現。 相談の表現。 日本の表現を表現。 日本の表現。 日本の表現。 日本の表現。 日本の表現。 日本の表現。 日本の表現。 日本の表現。 日本の表現。 日本の表現。 日本の表現。 日本の表現。 日本の表現。 日本の日本の表現。 日本の日本の表現。 日本の日本の表現。 日本の日本の表現。 日本の日本の表現。 日本の日本の表現。 日本の日本の表現。 日本の日本の表現。 日本の日本の表現。 日本の日本の表現。 日本の日本の表現。 日本の日本の表現。 日本の日本の表現。 日本の日本の表現。 日本の日本の表現。 日本の日本の表現。 日本の日本の表現。 日本の日本の日本の表現。 日本の日本の日本の表現。 日本の日本の日本の日本の表現。 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	を示す表現を使用して論理的に伝える。	0	0	0	0	0	[知識・技能)分詞(200名を修飾する分詞・V(の)・現在分詞の意 主分詞)の意味の用法。描写する実現を無駄について、情報や考え、気 日常生活で起こったり。経験した場面について、情報や考え、気 特別を大なを整理の非確とともに話して伝え合う技能を含まった。 1.28字、判断・表現」の常生活で起こったり、経験した場面につい いて、バートナーに詳しく説明するために、情報や表、気持ち などを理由や部場とともに話して伝え合っている。 土体的1日を指で起こった。発験した場面について、バートナーに詳しく説明するために、情報や考え、気持ちなどを理由 や辞細とともに話して伝え合おうとしている。		0	0	5
3 学期	Lesson 10 That's why I decided to go back? [知識・技能] 関係代名詞(主格、目的格、所有格、 that) の意味や用法、定義する変現を理解する。 人物の資제はついて、情報や今、気持ちなどを理由 や評解とともに話してなる合う技能を身に付ける。 人名名かった。人物の声報について情報やうち え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して仮え合う。 「主体的」バートナーに自分が知っている人を紹介するために、人物の評細こいで情報や多、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合わらた。人物の評細について情報を考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合おうとする。	・指導車項 話題 文化・異文化理解:日本や他国の文化や習わし について語されるやり取りから、日本等名の意象や文 に、また異文化のいて紹介たり、その違いについ て近いら表現を学ぶ。 には、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	0	0	0	0	0	国施・技能】関係代名詞(主格、目的格、所有格、由at)の意味や用法、定義する表現を理解している。人物の溶離について、情報や考え、気持たなどを理由や詳細ととに話して低えられる。力技能を保む付いている。でいた人を紹介する。関係を計画というでは、一般が表現した。では、一般が表現した。というでは、一般が表現した。というでは、一般が表現した。というでは、一般が容器について情報や考え、気持ちなどを理由や詳細ととも、に話して伝え合おうとしている。		0	0	5
	定期考査								0	0	0	1
		I		l	l				1	1		合計
												55

高等学校 令和7年度 教科 家庭 科目 家庭基礎

教 科: 家庭 科 目: 家庭基礎 単位数: 2 単位

対象学年組:第 2学年 1組 ~ 7組

教科担当者: (1~7組:関戸 小守

佐田教利書 / 教科書: Creative Living『家庭基礎』で生活をつくろう 大修館書店、準拠副教材:学習ノート 大修館書店

^{P、田教科書: (} 副教材:生活ハンドブック 資料&成分表&ICT 第一学習社

教科 家庭 の目標:

【知 識 及 び 技 能 】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営む為に必要な基礎的知識の理解を深 める共に、それらに係る技能を身に付けるようにする。

)

【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生涯を見通して課題を解決する力

を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域

や社会での生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	●生活のマネジメント ●共生社会をつくる 【知識及び技能】 ・自分の生活と自分自身についるの生活と自己理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 ・個人の発達知り、表特徴の生達課題を強成考える。 【学びに向かうカフスを知り、でありますについる。 【学びに向からカステカリンスを共のの手にでいる。 【学びに向からオステカリンスを共のの手におよび将来の生活を持つ。	 ・指導事項 第1章 (1)生涯,発達し続ける (2)意思決定を重ねてつくる人生 (3)どんな生き方をする? 第6章 (1)生活課題の乗り越え方(2)みんなで支え合うしくみ(3)ともに生き,社会をつくる ・教材教科書、資料集、学習ノート、パワーポイント(一人1台端末の活用) 	【知識・技能】 ・職業労働や家事労働の意義や特徴、現状と課題について理解している(定期考査) 【思考・判断・表現】 ・ライフスタイルや生活に関わる価値観の多様化について考えている(ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人の一生を生涯発達の視点でとらえ、各ライフステージの特徴と課題、青年期の課題について考えようとしている(ワークシート・発表)		0	0	6
1 学期	●青年期の課題と自立 ●家族・家庭生活のマネジメント 【知識及び技能】 ・青年期は,自立した生活が 営めるようではまた,いである。 実現にむけでする。 とを理解解力、方にて生めのをを理解解力、等】 ・家族関係のあり通じて 事例・ る。 【学びに向から力、家でである。 【学びに向からがよる。 【学びに向からがよる。 【学びにの機能によるの家庭での役割を考える。	 ・指導事項 第2章 (1)子どもからおとなへ (2)自立の達成をめざそう 第3章 (1)家族って何だろう (2)わかってくれて当然? (3)生活マネジメントの拠点 (4)法律から見る家族・家庭 (5)ダイバーシティの実現をめざす ・教材 教科書、資料集、学習ノート、パワーポイント (一人1台端末の活用) 	【知識・技能】 ・家族に関する法律を理解している。 (定期考査) 【思考・判断・表現】 ・現代の家族のあり方・家庭の機能について自分の考えを表現している。 (ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・家族・家庭に関する法律に関心をもち、社会制度としての家族について考えようとしている。(ワークシート・発表)	0	0	0	6
	●子どもの生活と子育てのマネジメント 【知識及び技能】 ・人の命がこの世に誕生する。 【忠考力、判断力、表現力等】 ・子どもの多れたと的なる。 【忠考力、判断力、て観点ができる。 【忠考力、判断力、でものなられば、 ・子といて多角えるできる。 【学子という生と尊厳にのからよりにものができる。 【学子というようなとができる。	 ・指導事項 第4章 (1)子どもの世界を知る (2)命の誕生 (3)こんにちは、赤ちゃん (4)好奇心いっぱい! (5)子どものいる暮らし (6)子どもの仕事は「遊び」 (7)子どもの健康とうこと (8)親会で子育て ・教材 教科書、資料集、学習ノート、パワーポイント (一人1台端末の活用) 	【知識・技能】 ・子どもの発達の特性について理解している(定期考査) 【思考・判断・表現】 ・母体の健康管理や生命の尊さに関する諸課題について、青年期の過ごし方と関わらせて考える(ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・子どもの成長と発達について主体的に考え、実生活に活かそうとしている(ワークシート・発表)	0	0	0	8
	●高齢期の生活のマネジメント 【知識及び技能】 ・高齢者の生活課題を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢者の心身の特徴を充実的り,高齢期の生活を充実させるための個人的・社会的方策を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・高齢者福祉の考えたといて理解し高齢者にとって豊かな生活とは何かを実践しようとする。	 ・指導事項第5章 (1)人生100年時代の高齢期(2)年をとると変わること(3)高齢期の生活を支える(4)介護を支える(5)これからの高齢社会 ・教材教科書、資料集、学習ノート、パワーポイント(一人1台端末の活用) 	【知識・技能】 ・高齢者の心身の特徴の一般的変化について理解する(定期考査) 【思考・判断・表現】 ・高齢者の生活の現状と課題について具体的に考えを深め、まとめたり、発表したりしている。(ワークシート・発表) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・高齢社会の現状や課題、高齢者の自立生活支援はどうあればよいのかなどについて考えようとしている。(ワークシート・発表)	0	0	0	8

	●食生活のマネジメント	・指導事項	【知識・技能】				
2 学期	【知識及び技能】 ・食の学生活にいかせない。 表別のでは、 表別ののでは、 表別のでは、 表別のでは、 表別のでは、 表別のでは、 表別のでは、 表別のでは、 表別のでは、 表別のでは、 まりのでは、 まりので	第8章 (1)食事の役割 (2)食生活を見直す (3)栄養バランスのよい食事 (4)炭水側きと食品の 調理性 (5)脂質の働きと食品の 調理性 (6)た調理質の働きと食品の 調理性 (7)無機質の働きと食品の 理性といる 調理性 (8)ビ理理の働きと食品の 調理性 (8)ビ理理との働きと食品の (10)食品を安全に (10)食品を安全に (11) ・教材 教科書、パワーポース (一人1台端末の活用)	・栄養素の種類と働き、栄養素等摂取の 基準や食品群別摂取量の目安を理解している。(定期考査・実習) 【思考・判断・表現】 ・家族や自分の食生活について、栄養や 健康と関わらせて考えようとしている。(ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・配膳や食事のマナーについて理解し、 工夫することができる。(ワークシート・実習)	0	0	0	12
	●衣生活のマネジメント 【知識及び技能】 ・被服材料に応じた洗濯や適 切なな生活の管理方法を理 があるとのでする。 、手義を向からことが表別した。 ・意義に製作の工程を表別である。 【学被服し、関連を表別では、 ・理解し、関連を対した。 ・理解に関すると ・を理解に関すると ・を表別である。 ・を表別では、 ・を表別では、 ・を表別では、 ・を表別では、 ・を表別では、 ・を表別では、 ・を表別では、 ・を表別では、 ・を表別では、 ・を書記では、	 ・指導事項第10章 (1) 衣生活の現状と課題 (2) 被服の機能と快適性 (3) 被服材料と性能 (4) 被服と安全・衛生 (5) 被服の管理 (6) 資源としての被服 ・教材 教科書、資料集、学習ノート、パワーポイント (一人1台端末の活用) 	【知識・技能】 ・用途や着用目的に合った被服材料の選択や被服材料に応じた洗濯、仕上げ、保管等ができる。(定期考査・実習) 【思考・判断・表現】 ・被服材料に応じた洗濯や適切な衣生活の管理について考えることができる。(ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・被服構成や縫製技術の特徴に関心を持ち、被服製作に取り組んでる。(ワークシート・実習)	0	0	0	12
3学期	● 経経 います では	 ・指導事項第8章 (1)生活を営むためのお金 (2)経済のしくみを知ろう (3)おお会と書きるうろ (4)18歳むきをきる (5)進むお金 (6)「こと者トラブルの支援 (7)消費者ときる (8)消費者会を生きる (10)私たちが社会を動かす ・教材 教科書、学習ノート、パワー人1台端末の活用) 	【知識・技能】 ・リスク管理も踏まえた家計管理について理解することができる。(定期考査) 【思考・判断・表現】 ・各ライフステージの特徴とと課題等と関連付けながらにできる。(ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自立した消費者として、環境や社会への影響を意識した責任ある。(ワークシート・発表)	0	0	0	10
	●安全で快適な住生活をつくろう 【知識及び技能】 ・住生活をつくろが技能】 ・住まるとのではではでいる。 【思考力、いやは生るといいでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、の	 ・指導事項 第9章 (1) なぜ住まうのか (2) 住生活の成り立ちと住文化 (3) ライフスタイルと住まいの関係 	【知識・技能】 ・生活行為と住空間とのかかわり,動作に必要な広さ,家具の配置や動線などについて理解している。(定期考査・間取り作成) 【思考・判断・表現】 ・住生活の文化に関心をもち,住まいの機能,人間と住まいとのかかわりについて考えようとしている。(ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・家族構成,ライフステージ,生活にかかわる価値観などに応じた住空間の計画について検討しようとしている。(ワークシート・間取り作成・発表)	0	0	0	8
学 年							合計 70

年間授業計画 新様式例

篠崎 高等学校 令和7年度(2学年) 教科 総合的な探究の時間

教 科: 総合的な探究の時間 単位数: 1 単位

対象学年組:第 2 学年 1 組~ 7 組

教科担当者: (1組:園山・山下) (2組:及川・河端) (3組:阿原・小黒) (4組:岸部・清水) (5組:柳楽・関戸) (6組:岸川・合谷) (7組:川守田・春田)

使用教科書: ()

教科 総合的な探究の時間 の目標:

【知 識 及 び 技 能】各自の興味・関心に応じて見出した探究課題について、深く考えることを通して、社会貢献に関する道徳

【思考力、判断力、表現力等】的価値を深め、主体的に人生を選択し、自己表現する力を養う。

「学びに向かう力、人間性等」主体的・創造的・協働的に取り組み、探求しようとする態度を養う。

科目 総合的な探究の時間 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各自の興味・関心に応じて見出した探究課題に ついて、深く考えることを通して、社会貢献に		
関する道徳的価値について、理解を深める。	関する道徳的価値を深め、主体的に人生を選択	探究活動に主体的・創造的・協働的に取り組
	し、自己表現する力を養う。	み、探求しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・各自テーマ設定を行い、探究課題について内容を精査する。 ・探究課題について確定させ、それをどう調査していくのか仮説と検証計画を立てる。 ・中間報告会による報告を行う。	授業計画の確認と、目標の確認を行う。 ・各自テーマ設定を行い、14の研究	年間を通じて ・目標に照らし、十分な意欲をもって活動した かという観点に基づいて評価を行う。 ・生徒の形成的評価をふまえ、指導に関わった 教員の評価を集約し、総合的に評価をする。	0	0	0	12
2 学期		・夏季休業を活用し、課題解決のための情報収集等を行う。(情報取集等を行う。(情報取集等)・調べた内容を整理・分析し、考察していく。(整理・分析)	年間を通じて ・目標に照らし、十分な意欲をもって活動した かという損点に基づいて評価を行う。 ・生徒の形成的評価をふまえ、指導に関わった 教員の評価を集約し、総合的に評価をする	0	0	0	13
3 学期	・成果発表会に向け、各自の探究テーマについて、レポートを完成させる。 ・自分は社会のために何をすべきか、 アクションブランを考える。 ・成果発表会により、1年間の学習成 果を発表する。	ポートを完成させる。(まとめ) ・自分は社会のために何をすべき か、アクションプランを考える。	年間を通じて ・目標に照らし、十分な意欲をもって活動した かという損点に基づいて評価を行う。 ・生徒の形成的評価をふまえ、指導に関わった 教員の評価を集約し、総合的に評価をする	0	0	0	10 合計 35